



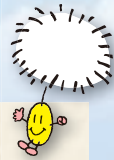
県民いきいき活動支援助成

地域づくり 活動事例集

みんな
の
笑顔！
笑顔！



(公財)ふるさと島根定住財団



はじめに

ふるさと島根定住財団では、県内各地で取り組まれる地域づくり活動を支援するために、地域活性化支援事業（ステップアップ事業およびジャンプアップ事業）を平成20年度から平成24年度まで5年間、また、社会貢献活動支援事業（単年型事業および複数年型事業）を平成21年度から平成24年度までの4年間にわたり実施してまいりました。

その間、公共性・公益性の高い事業であるとして94事業が採択され、それぞれの団体に於いて地域課題の解決や地域の活性化につながる活動が展開されております。

この度、ふるさと島根定住財団では助成を受けられた団体の皆さんの熱い想いや使命感、独自の発想や優れた企画力を多くの方々に知っていただくため、日頃の活動内容をまとめた「地域づくり活動事例集」を作成しました。

この事例集が、地域づくり活動に取り組まれる皆様のお役に立てば幸いに思います。

平成25年6月

公益財団法人ふるさと島根定住財団

県民いきいき活動支援助成

地域づくり活動事例集 目次

【地域活性化支援事業】



平成20年度採択	しまねコーチズ (大田市).....	1
	子ご美会 (大田市)	2
平成21年度採択	味工房あかつき (安来市).....	3
平成22年度採択	佐世だんだん倶楽部 (雲南市)	4
	楽農会22 (邑南町)	5
平成23年度採択	AMA-net (海士町)	6
	カフェうさぎ (出雲市)	7
	マルシェ高津川 (益田市).....	8
平成24年度採択	河南はつらつセンター (出雲市)	9



平成20年度採択	くらしアトリエ (雲南市).....	10
	メリーさんの会 (出雲市).....	11
	ゆいの里美都 (益田市)	12
平成21年度採択	隠岐観光義塾 (隠岐の島町)	13
平成22年度採択	日登の郷 (雲南市)	14
	隠岐しおさい (隠岐の島町)	15
	わかめの里片句こいグループ (松江市)	16
	かんばだん (出雲市)	17
平成23年度採択	明るい農村かわもと (川本町)	18
平成24年度採択	いわみ創工 (江津市)	19
	まめなかファーム新田後 (出雲市)	20

【社会貢献活動支援事業】



平成21年度採択	総合ケアセンターのぎ (安来市)	21
平成22年度採択	浜田を明るく照らし隊 (浜田市)	22
平成23年度採択	めだか論語普及会 (松江市)	23
平成24年度採択	3・11メモリアル・ウォークあらか実行委員会 (出雲市)	24



平成21年度採択	金太郎の家 (出雲市)	25
	斐伊川流域環境ネットワーク (松江市)	26
平成22年度採択	益田糸操り人形保持者会 (益田市)	27
平成24年度採択	アニマルレスキュー・ドリームロード (出雲市)	28

採択事業一覧	29
--------------	----

● 県民いきいき活動支援（助成）

県民のユニークな発想や企画力を活かし、地域課題解決や地域活性化に向けた公共性・公益性の高い活動を一層充実させるとともに、県民の総力を結集した地域づくりにつながる活動を支援します。

● 地域活性化支援事業

地域活性化に繋がる事業・活動のうち、収益を伴いながら事業自体の継続性と効果の継続性がともに見込まれるものに対して助成をします。

	ステップアップ事業 団体の立ち上がり期の活動や新規の活動が対象。	ジャンプアップ事業 これから規模を拡大し、本格稼働を目指す事業が対象。
対象者	県内の民間団体やグループ（5名以上）、NPO法人	県内の民間団体やグループ（10名以上）、NPO法人、商業法人等
助成額	40万円以上100万円以下	100万円以上300万円以下
助成期間	1年以内（決定から）	2年以内（決定から）
助成率	対象経費の2/3以内	
審査方法	公開プレゼンテーション審査	

● 社会貢献活動支援事業

地域の課題解決を目指して取り組む公共性・公益性の高い活動で、収益性を伴う事業の組み立てが困難であるものに対して助成をします。

	単年型事業 団体の立ち上がり期の活動や新規の活動が対象。	複数年型事業 他のモデルとなり得る継続的な活動が対象。
対象者	県内の非営利の任意団体（5名以上）、NPO法人	県内の非営利の任意団体（10名以上）、NPO法人（設立から2年以上経過し活動実績があるもの）
助成額	15万円以上40万円以下	300万円（年50万円以上100万円以下）
助成期間	1年以内（決定から）	3年以内（決定から）
助成率	対象経費の2/3以内	
審査方法	審査委員会による書類選考	公開プレゼンテーション審査



- 地域の課題解決や地域活性化に繋がる事業か
- 事業計画がしっかりしていて、実現可能性が高いか
- 事業を遂行するための組織運営能力、知識、経験、ネットワークがある団体か
- わかりやすく、熱意・説得力のある説明か





NPO法人

しまねコーチズ【大田市久手町】

ステップアップ事業



団体プロフィール

代表者名 溝部 俊也
 設立年 平成20年
 構成員数 101人
 助成採択年度 平成20年度
 問い合わせ先 TEL 050-3520-0530

多くの高齢者の方が
 健康で豊かな老後を過ごせるよう
 出張方式の運動教室を開催

● 団体の足跡

幼児から高齢者までを対象に、スポーツ・レクリエーションの啓発・普及活動、健康の増進と体力の向上を目指すとともに、指導者の養成と育成事業を推進することで、社会全体の発展に寄与することを目的に設立しました。

● 活動内容

最も高齢化が進んでいる島根県全体を活動エリアとして、多くの高齢者の方が健康で豊かな老後が過ごせるよう、楽しく効果的な運動教室を開催しています。

運動教室は、インストラクターによる出張方式で開催。介護予防や健康づくり、誰でも気軽に楽しめて仲間や生きがいがいづくりに繋がる「ガンバルーン体操・ガンバルーンゲーム」などを行っています。その他、脳のトレーニングも行うなど、日々運動プログラムを改良しながら行っているので、マンネリ化することはありません。

また、地域の若者や高齢者福祉に携わっている人を対象に、インストラクター養成講座を開催しています。この受講者などが主体となって各地区のサロンや施設でガンバルーンゲームを実施しており、様々な形で地域へ波及しています。



● 今後の展望

平成24年度から介護保険制度が改正され、機能改善や介護予防運動の実施が必要となりました。施設職員向けの養成事業も行いながら、地域の高齢者福祉を支える人材のスキルアップを目指して活動していきます。

団体からのPR

ステップアップ事業から本格的に普及が広まった出前健康教室は、今や県内で延べ3万2千人以上に実施しており、「笑い」を取り入れた健康教室は様々な地域で好評をいただき、日々広がっています。
 笑って体を動かすことから始める健康づくり、皆さんも始めてみませんか？

子ご美会

【大田市山口町】

団体プロフィール

代表者名 矢田 千里
 設立年 平成13年
 構成員数 13人
 助成採択年度 平成20年度
 問い合わせ先 TEL 0854-86-0401

山村留学を受け入れ、交流
 耕作放棄地を利用して棚田再生
 集落の活性化を図る



団体の足跡

平成8年から山村留学を受け入れ、都会の児童とその家族との交流を続けています。平成19年にしまね田舎ツーリズムにも加入し、地元の学校の農業体験などの受け入れも行っています。

活動内容

山村留学生（卒業生を含む）と家族を主な対象に、耕作放棄地を利用して棚田再生と集落の活性化を図るため、田んぼのオーナー制度「どじょっこクラブ」を立ち上げました。田んぼオーナーと地域がお互いに繋がり、現在、延べ5組がオーナーとなっています。

また、子ご美の里周辺や県道沿いの花壇づくりを行う女性グループ「ひまわりガーデンくらぶ」を立ち上げ、環境整備も行っています。



今後の展望

山村留学生の体験受け入れ「どじょっこクラブ」の田んぼオーナー受け入れを引き続き行っていきます。その他、女性グループで子ご美の里周辺や県道沿いの花壇作りなど、環境整備にも努めていきます。

団体からのPR

子ご美の里とオーナー田の共通で出来る活動として、25年春から畑オーナー10区画を計画しています。年会費制で、作業日は子ご美の里を昼食会の出来る体験場にしています。また、里の漬物工場をつくり、一部加工に着手し、25年春から子ご美の里の美味しい漬物を発売予定です。

味工房あかつき

【安来市広瀬町】



団体プロフィール

代表者名 土居 俊彦
 設立年 平成17年
 構成員数 10人
 助成採択年度 平成21年度
 問い合わせ先 TEL 090-2004-3269(岩田)

「マイうまい味噌オーナー制度」を導入
 味噌づくりをテーマに
 西谷地区の活性化を目指す

団体の足跡

少子高齢化が進む西谷地区で、地元の農産物を使った加工品づくりや交流事業などを通し、地域活性化を図っていこうと発足しました。

活動内容

団体設立当初から取り組んでいる味噌づくりの工程を体験してもらいながら西谷地区のファンや都市部との交流機会を増やしていこうと、「マイうまい味噌」のオーナー制度を導入。初年度の22年度は16人、23年度は15人、24年度は6人（予定）のオーナーが参加し、防腐剤などの添加物を一切使わず、大豆とこうじ、塩のみでつくった味噌づくりを体験しています。

この中では、こうじのもとになる米の田植えから始まり、大豆の植え付け、海水からの塩づくり、稲刈り、収穫した大豆の豆たたき、こうじづくり、仕込み作業までを、昔ながらの手作業で実施。味噌づくりをきっかけに、オーナーの住む地域の朝市に西谷地区の味噌や野菜を出品したり、笹巻き体験や日帰り旅行に一緒に出かけたりするなど、交流の輪が広がり、西谷地区の製品の販路拡大にもつながっていく考えです。



今後の展望

味噌の消費拡大に向け、ご飯のおかずになるにんにく味噌や生姜味噌、山椒味噌などの新たな加工品づくりを進め、試験的な販売を始めています。こうした新商品の開発に力を入れながら、添加物を使わない安心・安全な特産品づくりを今後も貫いていく考えです。

団体からのPR

塩以外は全て地元産。昔ながらの製法で、こうじと塩と大豆のみでつくった、まるやかな「西谷のおっちゃん」の味噌です。安来市内の道の駅や温泉施設などで販売しています。ぜひ食べてみてくださいね！

佐世だんだん倶楽部

【雲南市大東町】

団体プロフィール

代表者名 黒崎 寿夫
 設立年 平成22年
 構成員数 6人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0854-43-4256



火を使った生活の体験施設で
 「昔とった杵づか企画」を!
 地域内外の世代間交流が活発化

団体の足跡

佐世地区は、高齢化率33%と少子高齢化が進む地域であり、高齢者の農業離れ、耕作地の荒廃の進行など、さまざまな問題を抱えています。そこで、地域を活性化するためには、まず、そこにいる人が元気に楽しく暮らせるような地域づくりをする必要があると考え団体を発足しました。

活動内容

地区内の空き家を改修し宿泊施設として整備しました。そして、そこを拠点として田舎ならではの資源を活用した四季折々の体験メニューを実施し、区域外から人が訪れる仕組みを作りました。農業体験など実際に田舎暮らしを体験してもらい、地区の魅力を伝えることで交流人口の増加を目指しています。

また、生活経験豊かな地区の高齢者の人たちに『昔とった杵柄企画』の講師として積極的に参加してもらうことで高齢の方が心身ともにいきいきと暮らせるような地区の維持につなげています。

このような活動を通じて、地域内外の世代間交流が活発になり、良質なコミュニティが生まれるようになりました。



今後の展望

行政と一体となって地域づくりに取り組むことはより一層安定した事業展開につながると考えています。今後も積極的に行政とタッグを組み地区の魅力を発信していきたいと思ひます。

団体からのPR

普段の生活では経験・体験出来ないことを通して自然を感じ、感謝し敬う心をもう一度考える場所として、地元の人を訪れた人も楽しく豊かな気持ちになれるような企画を立案・実行していくことを目標にしています。

楽農会22

【邑南町日和】



団体プロフィール

代表者名 寺本 武光
 設立年 平成22年
 構成員数 7人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0855-97-0169

自然放牧の手法を取り入れた
 和牛肥育・繁殖を柱に
 子どもと高齢者の交流の場にも

● 団体の足跡

邑南町日和（ひわ）地区で、自然放牧の手法を取り入れた和牛肥育・繁殖の推進と、田園風景の保全、和牛の放牧をテーマに地域ぐるみによる子どもと高齢者の交流を図ることを目的に、設立しました。

● 活動内容

地区内において、放牧手法を取り入れた和牛の繁殖・肥育を行う仕組みづくりとして、電柵や簡易牛舎を整備しました。放牧することにより有害鳥獣の被害を防ぐことができ、豊かな田園風景の保全に役立っています。また、子どもと高齢者の交流の場づくりを目的に「日和ソング」をつくり、ここを拠点としたイベントなどに活用したり、見学者の受け入れを行ったりと、地域のPRも行っています。



● 今後の展望

引き続き、和牛の繁殖・肥育を行う仕組みづくりを確立させ、ビジネスとして行っていけるよう努めます。また、地域の交流の場として活用していきます。

団体からのPR

高齢者が、かつて和牛繁殖・肥育を行っていた時の記憶を頼りに、手探りでこの事業をスタートさせました。現在、活動を始めて3年を迎え、順調に繁殖頭数を伸ばしています。さらに、世代を超えて「和牛」をテーマに交流の輪が地域に広がりつつあります。

団体プロフィール

代表者名 豊政 幸司
 設立年 平成19年
 構成員数 8人
 助成採択年度 平成23年度
 問い合わせ先
 maruitihukei@hotmail.co.jp

古民家を改修した民泊施設で
 島暮らしを体験
 移住するきっかけづくりに



団体の足跡

隠岐島前地域には民泊施設の取り組みが無く、一般的な宿泊施設では日常的な島暮らしの魅力が十分に伝わりません。そこで民泊施設をつくり、気軽に島暮らしを体験し学べる、交流の場を設置しました。

活動内容

海士町に来た人が移住するきっかけになるような宿づくりをしています。古民家、廃納屋を改修して民泊施設「あまらや」を誕生させました。

この施設をひとつの拠点として、来場者が島の人のお手伝いをすることで、「お客様対応」ではない、素のままの島民と交流できる島暮らしの体験を実施しています。馴染みの島民が出来ていくことで、来場者が注連縄づくりや島の民謡キンニャモニャ踊りを教えてもらうなど、島民と来訪者との間に自然と繋がりが生まれるようになりました。

また、来訪者情報をブログなどで発信することで、島民自身のタイミングで参加できる自由な交流を促進。その結果、より自然に島民との交流が生まれるようになってきました。同時に、島外へ向けには島暮らしの様子を発信し、身近に島暮らしの日常が楽しめるようにしています。

今後の展望

Facebookなどによる広報の拡大を進めながら、島のイベントに合わせたツアーイベントを計画・実施し、利用客の拡大を図っていく考えです。特に冬季は利用客が少ない傾向があるので、集客UPを狙っていきます。

またWWOF JAPANへの登録を目指します。



団体からのPR

「なんかわくわくすることやりたい」とUターン者が集まってできたグループです。島で家族を持ち始めた仲間も増えてきたので「自分たちのペースで、のんびりと活動しよう」を大切にしています。

カフェうさぎ

【出雲市大社町】



団体プロフィール

代表者名 飯島 正子
 設立年 平成23年
 構成員数 5人
 助成採択年度 平成23年度
 問い合わせ先
 cafeusagi81@yahoo.co.jp

空き家となっていた旧郵便局を改修
 地元食材によるカフェを営業
 鵜鷺地区の地域の拠点に

団体の足跡

出雲市大社町鵜浦地区で、「この地区では飲食できる場所がない」「皆が気軽に集まれる憩いの場が必要」という思いを持ったU・Iターン者が集まり、空き家となっていた旧鵜鷺郵便局を改築。地元の方にもご協力いただき、「カフェうさぎ」をスタートさせました。

活動内容

春季～秋季の金・土・日曜と祝日、カフェを運営しています。地元の藻塩等を使ったうさぎ定食など地元食材を使用したメニューや、地元の朝市と連携した地元農産物・加工品の販売もしています。また、月ごとにコンサートやギャラリーを開催し、地域内外の活動に触れられるようにしています。

鵜鷺地区の全戸にはカフェ利用パスを配布し、メニューを割引料金で提供することで地域の方々の利用の機会を増やしています。近所の人たちで集まった時の憩いの場や、地区に久しぶりに帰ってきた人たちが、大勢でも気軽に集まれる場として利用されています。地域外に向けては、「うさぎ応援団」として同様の期間限定割引パスを希望者に有料で配布。応援団に入った人には、カフェと地域の情報をメールで案内し、利用促進を図っています。



今後の展望

これからの課題としては、スタッフの人員確保があげられます。そして、地元の高齢者が、玄関入口から簡単にカフェうさぎ内に上がれるように段差をなくすか、それを手助けする人が増えてくれれば…という願いがあります。

団体からのPR

短期滞在になりがちだった地域外からの訪問者の再訪問や、次の訪問者への更なる広がりを図っています。地域の憩いの場であるとともに、観光の拠点、地区の情報発信の場として知名度を上げることで、地域の活性化と人口の増加（移住）につながるよう目指していきます。

マルシェ高津川コンソーシアム【益田市】

団体プロフィール

代表者名 檜谷 邦茂
 設立年 平成23年
 構成員数 7人
 助成採択年度 平成23年度
 問い合わせ先 TEL 050-3383-9000

「有機農業」「自然農法」
 「オーガニック」「天然」をキーワードに
 マルシェ(市場)イベントを開催



団体の足跡

清流に育まれた高津川流域の自然環境や暮らしを次世代に繋ぐため、一次産業を中心とした地域資源を活用し、高津川流域の地域づくりに寄与することを目的として設立しました。

活動内容

高津川流域での「有機農業」「自然農法」「オーガニック」「天然」。そんなキーワードで栽培されている農産物や加工品を地元の皆さんにPRしたり、実際に購入できる場を作っています。具体的には、益田市内を中心とするマルシェ(市場)イベントの開催や、他団体イベントへの出店などの活動をしています。

生産者と消費者がコミュニケーションをとりながら買い物ができる場づくりをすることで、地産地消はもとより、食べ物のことや地域のことなどを情報交換したり、新たなアイデアや気づきを得ることができる、そんな場にしていきたいと思っています。

今後の展望

インターネットショップを開設して、地元のみならず遠方にお住まいの方々にも生産物をお届けできるようにしたいと考えていますし、新しい商品開発も行いたいと思っています。

テーブルやイスを置いて、その場で食べられるマルシェは人気があるので、他イベント主催者とコラボしながら活動していきたいと考えています。



団体からのPR

Facebookなどで情報発信もしています。タイミングさえ合えば、各種イベントにも出向いてマルシェをやっていきたく思いますので、ぜひ情報をお待ちしています。



団体プロフィール

代表者名 長谷川 潤二
 設立年 平成24年
 構成員数 8人
 助成採択年度 平成24年度
 問い合わせ先 TEL 0853-43-2035

草刈りや剪定、家事手伝いなどを
 コミュニティービジネス化
 地域住民の不便と不安が解消

● 団体の足跡

過疎化・高齢化が進むにつれて、今まで通りには自分たちで家の周りや休耕田、畑などの草刈りが出来なくなるなど、近隣住民への迷惑を考え気をもむ人たちからの相談や作業の依頼などがあるようになってきました。そこで、それらの生活支援事業をコミュニティビジネスとして取り組むことで、地域住民の不安と不便が解消されると考え、NPO法人を立ち上げました。

● 活動内容

主な活動としては、高齢者宅や独居世帯などにおける剪定や草刈り、家事手伝いなどを行っています。このような活動をすることで、高齢者や独居者が少ない自己負担で生活不安を解消でき、快適な暮らしを送ることができます。また、援助を行う側の会員の高齢者は自分のスキルが発揮できるとともに、臨時的な収入を得ることができるようになります。併せて、若い世代への一時的な就労の場の提供の役割も担っています。



● 今後の展望

将来的には、サロン事業を立ち上げることで、高齢者から子供達まで幅広い地域住民が気軽に交流できる場所の提供を目指します。そのことにより、地域の活性化と、若者が明るい将来図を描けるまちづくりにつなげたいと考えています。

団体からのPR

「元気と笑顔」「温もりと安心」をモットーに、地域の皆さんのあらゆるニーズにお応えしています。会員数も4月現在で86人を数え、年齢層も広がったため、若手会員を中心に新たな活動を展開しています。私たちの活動を通して、交流の輪の拡大と、地域の活性化を目指しています。



NPO法人

くらしアトリエ 【雲南市大東町】

ジャンプアップ事業



団体プロフィール

代表者名 梅 慈子
 設立年 平成19年
 構成員数 13人
 助成採択年度 平成20年度
 問い合わせ先
 info@slow-slow.com

住んでいる土地を楽しみ、豊かに暮らす
 生活文化、地域食などをテーマに
 ワークショップを開催

団体の足跡

豊かな自然と美しい景観、おいしい食べ物、気兼ねなく安心して子どもを遊ばせることができる環境……都会にはない田舎の魅力と恵みを見つめ、内外へ広く発信しながら、田舎での暮らしを心豊かに楽しもうと発足しました。

活動内容

棚田を見下ろす山深い地にある空き家を改修し、活動・交流拠点「くらしの学校」を整備。月2～3回のペースで、日々の暮らしや生活文化、地域食などをテーマにワークショップを開催しています。この中では、山陰地方で活躍する講師を招き、普段の暮らしを豊かに過ごすためのヒントが詰まったカリキュラムを用意し、交流の輪を広げています。

また、入室料を払えば、飲み物を楽しみながら暮らしや文化にまつわる本が自由に読める「山の図書室」も開設。気軽に同地を訪れてもらえるよう工夫しています。

この他、生産者と消費者をつなぐ朝市の開催や、郷土食のレシピを紹介する図書の編集などにも取り組んできました。



今後の展望

ワークショップなどへの参加募集をより効果的に行うため、情報発信をインターネット以外にも拡大して力を入れたいと考えています。参加者の裾野をさらに広げながら、暮らしに根付いた活動を継続していきたいと思っています。

団体からのPR

「くらしの学校」を定期的で開催しています。山陰在住の作り手たちによる楽しい授業と、地元の恵みを使ったおいしい給食を通して、地域の魅力をじかに感じてみませんか？また、読書の空間「山の図書室」も不定期でオープンしています。詳しくはホームページをご覧ください。

メリーさんの会 【出雲市佐田町】



団体プロフィール

代表者名 山本 友義
 設立年 平成18年
 構成員数 13人
 助成採択年度 平成20年度
 問い合わせ先 TEL 0853-85-2626

捨てられていた羊の毛を商品化
 素朴で温かく丈夫な品質で
 毎年予約で完売する人気に

団体の足跡

山野の草刈り作業の軽減を図って導入された羊の毛が捨てられてきたことに着目し、この活用と、地域の特色となる事業おこしを目指し、団体が創設されました。

活動内容

山の斜面で草をはむ約50頭の羊の毛を刈り取り、毛糸玉やベスト、マフラー、帽子、靴下などの製品をつくっています。乾燥、洗浄、選別、ほぐし、ならし、糸紡ぎ、糸より、手編み、機械織りの一連の作業を、基本的に一つひとつ手作業で実施。一頭ごとに毛の質が異なるため、毛糸には一つずつ個体管理番号が付けられ、品質が管理されています。講師の招へいや他県での研修などにも積極的に取り組み、スキルアップに努めています。



こうして手間暇かけて出来上がる羊毛製品は、素朴で温かい風合いや、長らく使用できる丈夫な品質が特長。毎年予約で完売するという人気ぶりです。

近年では、海外や都会地から見学や研修で同地を訪れる人もいるなど、団体の取組みが広く注目されており、地域の賑わいづくりの役割も果たしています。

今後の展望

今後さらに羊毛製品のアイテムを増やし、ファンの拡大につなげていきたいと意気込んでいます。カーディガンなどを検討中で、編み物の先生などから指導を受け、喜んでもらえる新製品づくりと売り上げアップを目指しています。

団体からのPR

メリーさんの会では、羊毛の加工作業を一緒に行う会員を募集しています。年会費1,000円で、毎週月・水・金曜に工房に集い、作業します。できた製品の売り上げに応じ、分配金も出ます。一緒にやってみませんか？
 また、希望者には、原毛もお分けします。お気軽にお問い合わせください。



農事組合法人

ゆいの里美都 加工部美都60

【益田市美都町】

団体プロフィール

代表者名 山根 和夫
 設立年 平成18年
 構成員数 25人
 助成採択年度 平成20年度
 問い合わせ先 TEL 0856-52-3565

遊休ハウス施設を移転・改修
 10種の原材料を採取・ブレンド加工し
 安心安全なおいしいお茶を製造・販売



団体の足跡

地域に自生する熊笹、どくだみ草と、遊休農地での栽培によるカワラケツメイ、えびす草、甘茶づるなど10種類の原材料を採取・ブレンド加工し、安心安全でおいしさを追求したお茶の生産・販売を行っています。

活動内容

遊休ハウス施設を移転改修し、原材料の自然乾燥、加工、貯蔵の場として整備しました。そのことにより、天候に左右されずに大量の生産、加工等が行え、販売も安定的に行うことが可能となりました。併せて「みと60山里茶」を「美都60山里茶」とネーミングやパッケージデザイン、袋を改良し、お客様により飲み易く使い易い商品を提供しています。



今後の展望

多くの皆さんに愛していただける商品づくりを目指します。そのために、新商品開発を行っています。平成25年の夏頃にはお披露目を、と思っておりますので、今までの商品同様、どうぞよろしくお願いたします。

団体からのPR

山里の宝を手間暇かけてお茶の形にしました。甘さ、コク、香りが何より引き立つ“美しい都からの贈り物”をぜひ味わってみてください。
 私達の活動の目標は「結の心」。“できる人が、できる事を、できる時に”“無理をしないで自分をいとおい仲間を慮る”そして“楽しく”です。

隠岐観光義塾

【隠岐郡隠岐の島町】



団体プロフィール

代表者名 八幡 洋公
 設立年 平成19年
 構成員数 4人
 助成採択年度 平成21年度
 問い合わせ先 TEL 08512-3-0220

ジオパーク認定をきっかけに
 養成したガイドによるジオツアーを商品化
 着地型観光で隠岐の魅力発信

● 団体の足跡

隠岐観光義塾は、旅行エージェント依存型の旅行形態からの脱却を目指し、平成19年に隠岐島内の民間事業者5社により、設立し、旅行商品開発を行ってきました。その後、22年に第3種旅行業を取得し、「隠岐旅工舎」として、商品開発、販売を行っています。

● 活動内容

「旅行商品」になりえるガイド、案内だけでなく旅行者の興味関心や知識程度に合わせる柔軟性や、様々な疑問に対応できるスキルを持ったガイド商品・体験型商品を開発しています。例えば平成24年度に「隠岐ジオパークデビューの旅」として、隠岐の島町で、本事業で養成したガイドがガイドアイテム（紙芝居）を活用してガイドするジオツアーを造成しました。7月から11月までで25本を設定し、乗車人数126人の実績となりました。本ツアーでは、専門知識とスキルを持ったガイドツアーを商品化することで、顧客満足度を高めることに成功しました。また、既存の商品の街あるきガイドが本事業で作成した紙芝居アイテムなどを活用し、内容が充実した定時ガイド商品もできました。



● 今後の展望

地元の登録ガイドの増加が今後の課題です。そのためにガイドマニュアル等を共有し、案内しやすい環境を構築していく考えです。ガイド数20人を目標に、ガイドカタログなどを作成し、発信していきたいです。

団体からのPR

東日本大震災以降、人々の価値観は大きな転換期を迎え、「新しい生き方」を探さなければいけない時代です。隠岐の人々は昔から人との付き合いを大切に、自然と共に生きてきました。それは伝統として受け継がれており、現代人の「新しい生き方」のヒントになると考えます。ガイドを通じて隠岐の人の生き方を伝えていけるよう旅行商品を作ることが、私達の使命だと思っています。



地域自主組織

日登の郷

【雲南市木次町】

ジャンプアップ事業



団体プロフィール

代表者名 本田 宏
 設立年 平成18年
 構成員数 13人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0854-42-0238

わらぶき屋根の古民家を
 田舎レストランとして整備
 田舎料理や創作料理を提供

団体の足跡

行政の広域合併を受けて誕生した地域自主組織の中で、有機栽培が盛んに取り組まれている地域性を生かし、地元農産物などを使って交流人口の拡大を図っていると、食に焦点をあてた地域づくりの活動が始まりました。

活動内容

尾原ダムの建設に伴い移転が必要になったわらぶき屋根の古民家を田舎レストランとして整備。国の構造改革特区「どぶろく特区」に認定されている日登地区の中にあり、どぶろくと合う田舎料理や創作料理を提供しています。

地元の人が無理なく働けるよう、基本的に月4日間の電話申し込みによる予約制の営業（ただし、1・2月と7・8月は25人以上の団体のみ臨時営業）。料理スタッフの家庭菜園で育てた安心・安全な野菜を持ち寄り、素朴で滋味深い料理をバイキング方式で提供し、桜の花の塩漬けを混ぜた桜ご飯や、自家製味噌でつくった味噌汁、カッテージチーズであえた室山あえ、桜の木で燻した燻製卵など、20数種類の工夫を凝らした料理が好評です。

年間50～60回の営業で毎年2,000人を超える人が来場し、そのうち6割が市外からの訪問と、食を囲んだ交流の輪が広がっています。



今後の展望

ゆずの甘煮やたけのこの佃煮、ふきのとうの味噌など、地元産品を使った加工品づくりにも力を入れていく考えです。儲け主義に陥ることなく、ゆっくりと食を楽しんでもらえる環境を大切にし、地域全体での取り組みを進めていきます。

団体からのPR

地域づくり事業の一分野として開店して4年目を迎え、当初に比べて料理の味、種類ともに上達し、スタッフの笑顔でのふれあいで楽しい時間を過ごしていただいています。何よりの成果は、皆さんに「また来ます」と、笑顔でお帰りいただけることです。一度来てみませんか。



団体プロフィール

代表者名 岡田 智子
 設立年 平成19年
 構成員数 20人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 08512-6-2911

郷土料理を商品化し
 幸せ感じる「感幸体験交流」を展開
 六次産業化で隠岐の地域力アップ

● 団体の足跡

隠岐の島町内における定住や交流人口の拡大、産業の創出、少子高齢化対策などの地域課題に取り組む活動を進め、豊かに暮らせる地域づくりを図っていきこうと、平成19年から活動を始めました。

● 活動内容

サザエの混ぜご飯のもとなど、地域の中で食べられてきた旬の郷土料理を商品化し、水産物の販売・加工に力を入れると共に、地域資源であるやぶ椿を使った商品開発を進め、人と人とのつながりを大切にした対面販売を実施しています。また、「感幸体験交流（地域資源の体験交流を通じて来場者が幸せを感じる観光）」と銘打ち、地域の旬の素材や季節の行事を融合させた体験交流イベントを定期的で開催。これまでに80回を超えるイベントを実施し、累計800人以上の参加者を得て、交流の輪を広げてきました。その他、定住促進に向けた島暮らし体験ツアーの開催や、里山・里海植栽の環境保全活動など、幅広い取り組みで地域活性化を後押ししています。



● 今後の展望

これまでの活動を地道に積み上げながら、こだわり商品や感幸交流の促進に力を入れ、六次産業化の完成を目指していく考えです。出会いを大切にし、縁を絆しながら、地域力向上を図っていききたいと意気込んでいます。

団体 からの PR

しおさいでは、皆様との心温まる感幸体験交流の実施、漫画美味しんぼに登場した大森島サザエ、農林水産大臣賞を受賞したサザエの混ぜご飯の素、隠岐椿油女神のおくりもの等、里山・里海資源を活用した隠岐のこだわり特産品を販売。地域が抱える社会的課題を解決しながら、“地域力”を高めていききたいと思います。隠岐の島へお越しの際は、“しおさいにおいでませ！”



有限責任事業組合

わかめの里 片句こいグループ

【松江市鹿島町】

団体プロフィール

代表者名 山本 建夫
 設立年 平成22年
 構成員数 10人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0852-82-1766



活用されていなかった
 わかめの茎やめかぶに着目
 加工食品の製造・販売で地区を活性化

団体の足跡

片句の板わかめは、味の良さですでに高い評価を得ていました。そこで私たちは、当時活用されていなかった茎やめかぶに注目。これらを加工することにより付加価値を高めて販売につなげ、地元特産品を活用した加工品製造・販売事業を片句地区の活性化につなげていこうと、活動を始めました。

活動内容

加工品として、わかめの茎の部分を細かく刻み、ごま油で炒め調味料を加えて味付けをした『茎わかめ万能味噌』、めかぶとすりおろした玉ねぎに飛魚だしを加えた『メカブドレッシング』などを考えました。材料となる茎やめかぶは毎年2～5月に年間分を仕入れ、営業が2人、製造が8人体制で、原則土曜日・日曜日に活動しています。

現在、製造した商品は主に松江市農林水産祭やふるさと回帰フェア、水辺の朝市などのイベントに出品し、試食・販売しています。また、イベントによる対面販売だけでなく、業務用販売に取り組むことで安定した売り上げを確保し、事業を拡大させ、わかめ生産者の収入増と後継者育成にもつなげていく考えです。



今後の展望

県内外の各種イベントに積極的に参加し、片句の魅力をもPRしていきたいと考えています。それらにより、片句わかめのブランド価値がより一層高まり、地域の活性化につながると考えます。

団体からのPR

片句港の沖合の冬の荒波で育てられた片句のわかめはブランド品です。そのわかめの茎やめかぶを活用して手作りにこだわって開発した『茎味噌』『めかぶのサラダ』を販売しています。片句こい（恋・来い）の精神に地元の仲間が賛同した地域おこしを目指したグループです。

かんばだん

【出雲市斐川町】



団体プロフィール

代表者名 白根 幹雄
 設立年 平成20年
 構成員数 22人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0853-72-8150

イノシシ出没、荒れ放題の竹林が
 竹パウダーやチップ製造で宝の山に
 無農薬野菜の肥料などに活用

団体の足跡

長く安心して住み続けることのできる地域を住民の力でつくってほしいと、神庭谷地区の全世帯から50代以上のメンバーが集い、発足しました。

活動内容

荒れ放題になり、その処理やイノシシ出没等で困っていた集落内の竹林を有効に活用してほしいと、粉碎機を導入。毎年約500平方メートルずつ間伐し、粉碎機にかけて竹のパウダーやチップを製造して、無農薬で栽培する野菜の肥料や草抑え等に活用しています。

竹パウダーは乳酸菌の発生を促して土が柔らかくなり、不使用のものに比べ、ネギの栽培では根の数が5割増しに、重量が1割増しになるケースもありました。集落外の農家でも定期的に使用される例が出るなど、竹パワーが注目されつつあります。

竹パウダーを用いた野菜を加工したトマトミックスソースや黒米などの加工品づくりにも力を入れ、従来比2～3割の販売増につながりました。トマトミックスソースは出雲推奨商品にも認定されるなど、「安心・安全」な農産・加工品づくりが、地域の活気を生んでいます。



今後の展望

竹林の伐採で通りが明るくなり、共同の作業を通して集落内の結束も強化。女性の力が生かされる場面も増えるなど、波及効果を生んでいます。今後は、竹パウダーを道の駅などで広く販売していけるよう小口での商品化に力を入れ、「かんばだん」商品のブランド化を目指しています。

団体からのPR

かんばだんの活動の中で、地域周辺の竹林の減少を目指し、粉碎機によるパウダーを利用して、野菜等の収量アップを図ってきました。畑に直接散布する方法で、ネギ農家で変化が出てきました。トマトやその他一般野菜でも効果が見られるようになりました。今後とも推進を図ってPRしていきたいです。



NPO法人

明るい農村かわもと 【川本町三原】

ジャンプアップ事業



団体プロフィール

代表者名 福代 美保
 設立年 平成22年
 構成員数 12人
 助成採択年度 平成23年度
 問い合わせ先 TEL 0855-74-0870

U・Iターン者や高齢者の技を活かし
 地元野菜や羊肉使ったカフェをオープン
 「ひと」が活躍できる舞台に

団体の足跡

邑智郡川本町三原地区を中心に、目的意識を明確に持ち、自ら汗をかいて地域おこしを実現しようとする地元人のみを正規会員として活動しているNPO法人です。地域資源を活用しながら外貨を稼ぎ、地域活性を図る取り組みをしています。

活動内容

U・Iターン者や高齢者の技を活かし、「ひと」が活躍できる舞台として、平成24年5月、川本町三原地区に「LaboCafé(ラボカフェ)明るい農村」をオープンしました。ここでは地元の高齢者が作った野菜やIターン者が飼育する羊肉を使い、野菜のデザートや羊カレーなどを提供。地域資源をお金に換える仕組みづくりをしています。カフェにはギャラリーも設け、次に続く人材の発掘を目指しています。



今後の展望

コミュニティビジネスに繋がるよう、菓子・惣菜加工施設をオープンします。また、周辺の空き店舗を活用できるよう支援も行っていきます。

団体からのPR

土・日・祝日のみの営業ですが、半年余りで1,200人のお客様が来店。県外の遠くからお越しの方や、近所から長靴を履いてお越しのおじいさんが語り合う面白い空間が出来ました。地域の人も野菜を出荷されたり、フリーマーケットをされたりと、変化が始まっています。今後ますますの変化をみんなと創りあげていきたいです。



いわみ創工株式会社 【江津市後地町】



団体プロフィール

代表者名 多田 十誠
 設立年 平成22年
 構成員数 2人
 助成採択年度 平成24年度
 問い合わせ先 TEL 0855-57-0522

活動拠点「風のえんがわ」を整備
 古民家カフェや体験事業など
 様々な活動で人と食と農を結ぶ

団体の足跡

地域に新しい風を吹かせたい、人の気持ちの集う縁側のような場所にしたい。そんな想いで、縁側のような、誰もが気軽に来られてホッとできる居場所をつくりたいと、活動拠点「風のえんがわ」を整備しました。安心できる食事と時間、そして人が出会う機会を提供し、「個人が元気を取り戻す場」を創造するため、活動を行っています。古代ギリシャ語で、風は「魂」を意味することから、「風のえんがわ」と名づけました。

活動内容

「風のえんがわ」では、「食の風」として、空き家や地域食材を活用した古民家カフェを営業。また、「人の風」として、ピザ作り体験やひまわりを植えようプロジェクト、音楽コンサート、ギャラリー・個展、子どもたちの遊び場（ツリーハウスなど）づくり、自家菜園を使った収穫・種まきイベント、地域資源の掘り起こし等に取り組んでいます。さらに、「農の風」として、耕作放棄地や空き家をあっせんし、地域における就農・定住の促進に力を入れています。



(※「食の風」、「人の風」、「農の風」と名づけ、それぞれの風（活動）がつながることで地域の活性化や継続性を生み出すことを目指しています。)

今後の展望

ゆっくり本が読めるブックカフェや、地元の公園を利用した就農定住支援と地域活性化、耕作放棄地の活用を行っていききたいと思います。

団体からのPR

「人と人が集う 食と人が出会う 農と人が再会する 人と食と農はともに生きる」をキャッチフレーズに、訪れるみなさんがホッとできる場所、集える場所を創っていききたいと思います。応援よろしくお願いします。



農事組合法人

まめなかファーム新田後

【出雲市灘分町】

団体プロフィール

代表者名 小村 正
 設立年 平成24年
 構成員数 43人
 助成採択年度 平成24年度
 問い合わせ先 TEL 0853-63-2680

女性パワーで地域を活性化
 活動・交流拠点の加工場を新設し
 キムチや地域の伝統食を商品化



団体の足跡

農業生産活動を中心とした営農組合も、女性が活動・交流できる場を充実させ、また、女性ならではの視点から捉えた意見を反映させることで、地域の活性化につながると考えました。そこで、既存の任意営農組合から組織変更をして農事組合法人となり、その際、女性の正組合員化も実施し、組織をより強固なものとなりました。

活動内容

平成15年に任意営農組合を設立後、女性活動の活性化を図るため、平成17年よりキムチを手始めに加工事業に取り組みました。その後、平成24年に「(農)まめなかファーム新田後」を設立。加工場を新設することで、安心安全な商品づくりと製造の効率化を図りました。合わせて、保健所の営業許可(総菜製造業)を取得し、これまでイベント出店でしか販売できなかった地域の伝統食品等を商品化しました。



今後の展望

地元で生産された農作物に付加価値をつけて販売することで事業の拡大を図り、就労機会の増大にもつなげていきたいと考えています。また、女性だけでなく男性の加工事業への参加を促すことで、生産と加工が一体となった「夢のある地域農業モデル」としての波及効果を目指します。

団体からのPR

地元で生産された新鮮な野菜を使用し、添加物を使用しない安全で安心な加工食品づくりがモットーです。キムチは本場韓国伝統の味を活かし、白菜の持つ甘味と唐辛子のコクは他にない味わいです。また、昔なつかしい“お袋の味”や、季節感を盛り込んだ新感覚の漬物、惣菜をお届けします。新設した加工場で、元気な母ちゃんたちが、あなたに代わってつくります。



団体プロフィール

代表者名 大江 範江
 設立年 平成21年
 構成員数 15人
 助成採択年度 平成21年度
 問い合わせ先 TEL 0854-27-7000

訪問看護と母子支援事業で
 安心した暮らしと
 楽しい子育てをサポート

団体の足跡

在宅療養者とその家族、援助が必要な子ども、高齢者に対して、訪問看護事業及び母子支援事業等を行い、地域社会の保健・医療・福祉の充実を図ろうと、団体を設立しました。

活動内容

安来市の山間部では育児支援が十分でないのが現状です。子育てに悩んでいる方々の不安を解消するため、母子支援事業所として、助産師の直接訪問や通所での相談・ケアを行っています。産前産後の相談はもちろん、赤ちゃん相談や、母乳ケアやベビーマッサージなど産後によくある悩みや不安に幅広く対応しています。さらに、直接は相談しにくいという人に対し、電話やメールなどを使い、個別に気兼ねなく相談が出来るような仕組みも整えています。

また、母親だけでなく、夫婦が協力して育児に向かえるようにパパママサロンや、祖父母の立場で現代の子育て事情を学べる孫育てサロンも開催。育児に安心できる環境づくりのお手伝いをしています。

おじいちゃん・おばあちゃん

いまどきの孫育て講話

日々、孫の子育てに一歩おじいちゃんおばあちゃん
 目はこう言われたものだけど・・・
 と思うこともたくさんあるでしょう。
 孫のためと思っていても、
 お母さん・お父さんと育児の衝突になってしまったり・・・
 そんな事はないですか？



最近の赤ちゃん育てについて、医療の専門
 家から、どんな風に言われているのか、
 助産師と一緒に話しませんか？

総合ケアセンターのぎ
 TEL 27-7000



今後の展望

団体の認知度が上がり、参加者も年々増えてきています。その結果、親同士でメールの交換などによる交流も増えてきています。

最近では出張マタニティヨガや公民館での活動も実施。特に母乳ケアはニーズが高いので、今後はそのサポート体制の充実と市との連携が課題です。

団体からのPR

出雲四大神の一つ、熊義神社近くにある事業所です。訪問看護と母子支援事業で、看護師と助産婦が対応しています。在宅でも質の高いケアを受け、安心して療養していただけるよう、田舎でも楽しい子育てができるよう、情熱を持って活動しています。母子支援では、母乳・育児相談やベビーマッサージの他、いろいろなイベントもしています。ぜひ、お立ち寄り下さい。

浜田を明るく照らし隊 【浜田市田町】



団体プロフィール

代表者名 村武 まゆみ
 設立年 平成21年
 構成員数 13人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0855-22-1937 (龍泉寺)

県立大学生が犠牲となった痛ましい事件を受け
 「門灯点灯活動」など
 浜田が明るくなる活動を展開

団体の足跡

島根県立大生が犠牲となった痛ましい事件を受け、市民が一日でも早く安心して暮らせるまちづくりを進めようと結成しました。人と人とのつながりを大切に、浜田が明るくなるよう、自分たちができることを考えて活動しています。

活動内容

浜田市の安全安心に何が必要で何が出来るかを全員で考えるため、ワークショップを重ねてきました。その結果、「あいさつ推進の活動」「門灯点灯活動」のほか、島根県立大学生作成のミニコミ誌を活用し、啓発活動を行っています。

門灯点灯の啓発につなげていくため作成した門灯シールは、浜田市の協力で市内配布が実現しています。



今後の展望

誰とでもあいさつができるまちを目指す「あいさつ川柳活動」、門灯点灯を推進する「2622プロジェクト」、安全安心へのきっかけ作り「はまだ灯」の継続開催の3つの柱を中心に、市民と島根県立大学生と共に展開したいと思います。

団体からのPR

事件から3年後の10月26日に開催した「はまだ灯」は、事件の風化を防ぐ事と安全安心で暮らす事を考えるきっかけ作りとなりました。今後も安全安心への意識を持つ市民が一人でも増えるよう、多くの方とつながりを広げながら活動していきたいです。

めだか論語普及会

【松江市八雲町】



団体プロフィール

代表者名 佐藤 京子
 設立年 平成23年
 構成員数 7人
 助成採択年度 平成23年度
 問い合わせ先 TEL 0852-54-1072

論語をもとにした紙芝居と
 論語の素読出前講座で
 親子や地域のきずなを深める

団体の足跡

これまで論語を自分達で学び、楽しんできましたが、無縁社会が広がる不安定な今こそ、大切なことを教えてくれる論語の力を地域に広める役割が必要と、団体を立ち上げました。

活動内容

地域の子どもや障がい者、高齢者向けとして、保育園や学童施設を訪問し、論語の素読出前講座を実施しています。声に出して読むことで、音が耳から脳に伝わり、心身が元気になるよう刺激してくれます。その普及活動として、特に子ども達に分かりやすく、声に出しやすくするために、論語をもとにした紙芝居を作成し、素読と組み合わせ実践しています。紙芝居と素読で子ども達は自然に論語を覚え、覚えた論語の言葉は「考える力」を手助けするようになります。



さらに論語を親子で楽しめるよう、講演会や素読塾を開催しています。親子や祖父母との間に共通の話題が出来ることで、家族間のコミュニケーションが生まれるようになります。

また、論語を楽しむためには指導にあたるリーダーの存在が欠かせないため、出前講座の講師となるリーダーを養成する連続講座も実施しています。

今後の展望

「論語の美しいことば」の素読を広く地域に普及する活動を、継続的に行っていきたくと考えています。素読を通して、親子のきずなや、地域のつながりを深める一助となることを願っています。

団体からのPR

幼稚園・保育園・学童さんからおじいちゃん・おばあちゃんまで幅広く、論語の素読を楽しんでいます。子ども達は目をキラキラさせて大きな口で「子曰く…」と胸を張っています。紙芝居も大人気ですよ。なごやか寄り合いでは章句を自分の人生に重ね合わせて苦笑い?てな光景も。心に響く言葉を見つけては温かい時間がアツと言う間に過ぎていきます。各教室での学習会等も程よい緊張感があり有意義ですよ。幾つになっても切磋琢磨出来る仲間がいるって素敵です。

3・11メモリアル・ウォークあき実行委員会 【出雲市大社町】

団体プロフィール

代表者名 黒目 光正
 設立年 平成24年
 構成員数 32人
 助成採択年度 平成24年度
 問い合わせ先 TEL 0853-53-5440

地域防災力強化へウォークを企画
 避難所までの徒歩移動など体験
 災害時の動きや分担について考える



団体の足跡

過去に大きな災害を経験したこともなく、総じて地域住民の防災意識が低い傾向にある出雲市大社町荒木地区において、楽しく取り組める活動を取り入れながら、住民の防災意識を高め、地域の防災力を強化したいと、地区内の主要な各種団体を網羅した実行委員会を結成しました。

活動内容

子どもから大人まで幅広い層の参加を促して
 いこうと、東日本大震災から丸1年が経過した
 平成24年3月11日に第1回のメモリアル・ウォークを、翌年3
 月9日には第2回のメモリアル・ウォークを実施。市の避難所に
 指定されている浜山公園施設（カミアリーナ）や古代出雲歴史博
 物館への徒歩での移動を実際に体験してみたり、水害を想定した
 堀川や神戸川周辺における水の流れや高台の位置の確認、炊き出
 しなどを盛り込んだウォークの取り組みを通し、災害時の動きや
 役割分担のあり方などを考えました。

初年度は約220人、2年目は約350人の参加があり、地区内の
 団体間における連携も強化され、防災について広く考えていく
 きっかけとすることができました。



今後の展望

年々参加者が増加し、スタッフの増強をはじめとする受け入れ態勢の強化が課題
 です。転入者が多い土地柄でもあるため、そうした人への働きかけにも力を入れ、
 マンネリ化に陥らないよう内容を見直ししながら、今後も地域防災をテーマにした活動を地道に継続し
 ていきたいと考えています。

団体 からの PR

防災は永遠のテーマです。災害は忘れた頃にやってくるため、普段から訓練や教育を繰り返
 し、取り組みを継続していくことに意義があると思っています。学校機関等とも連携しながら、
 地域の防災力向上に向けて、今後も頑張っていきます！

金太郎の家

【出雲市斐川町】



団体プロフィール

代表者名 阿食 かをる
 設立年 平成11年
 構成員数 46人
 助成採択年度 平成21年度
 問い合わせ先 TEL 0853-72-5110

民家を改修し集いの場を整備
 高齢者や障がい者、子ども達の
 主体的で幅広い交流の輪が広がる

団体の足跡

身近な地域の中に気軽に駆け込める場所を設け、高齢者、障がい者、子ども達一人ひとりの尊厳が守られたケアを実現していこうと発足しました。

活動内容

民家を改修し、地域の高齢者や障がい者の集いの場として、金太郎大学（郷土史学習）、金太郎倶楽部（ゲームや体操、絵手紙など）、川柳会（川柳創作）、おちらとくらぶ（視覚障がい者を中心とするウォーキング）、歌う青空の会（季節の歌などを合唱）、木曜会（相撲甚句）、フラワークラブ（生花アレンジメント）の7クラブを開設。施設内の段差の解消や車いすなどの備品整備も進め、年間約170日・延べ1,500人以上の参加を得て、主体的で幅広い交流の輪が広がっています。



年齢やハンディの有無を超えたふれあいが重ねられることで、適度な緊張感を持ちながら、温かな思いを交換する場になっています。

また、利用者の活動発表の場や、介護に関する勉強会・講演会なども定期的で開催し、地域福祉に対する理解を広げる活動も進めています。

今後の展望

介護保険をはじめとする公的なサービスではカバーできない部分を地域貢献活動としてフォローし、一人ひとりに寄り添ったケアをきめ細やかに提供していくことを目指し続けます。

団体 からの PR

出雲市斐川町の湯の川温泉の傍らにあり、地域の小さな福祉拠点を目指しています。地域の皆様の集いの場として「金太郎大学、川柳会、相撲甚句の会」等の会を週2～3回開催しています。皆様の意見、アイデアで運営しており、笑顔がいっぱいです。一緒に楽しみませんか。たくさんのご参加お待ちしております。



団体プロフィール

代表者名 小谷 武

設立年 平成10年

構成員数 178人

助成採択年度 平成21年度

問い合わせ先 TEL 0852-20-0060

斐伊川流域の環境保全を住民の手で
桜の植樹や剪定技術講習会などで
未来に続く環境づくりを進める

団体の足跡

“流域とは水で繋がった運命共同体である”との考えに立ち、次代を担う子ども達を中心に産・官・学・民の協働連携で、斐伊川流域の水環境保全活動に取り組んでいます。

活動内容

取り組みの一つとして中海圏域の活性化と振興に寄与する「八東・花と緑の島づくり支援活動」があります。この取り組みは平成19年4月から平成23年3月までの約4年間、ラムサール条約（Wise use）の観点に立ち、中海圏域の中心に位置する大根島の中海干拓で生じた旧残水域；荒廃地約3.2㌥を、産・官・学・民の協働連携ネットワークによって1,000本の桜植樹を行い、「花緑の交流拠点」を整備しました。平成23年4月から3年かけて地元、八東自治会連合会等に対し、この交流拠点を「千本桜記念公園」に育て、新しい地域資源として引き渡すため、桜木の整枝剪定やクローバー植生改良地の保育、除草方法等について技術講習と実習を行っています。



今後の展望

今後は斐伊川くらぶ中心でなく、活動の場である八東町住民が中心となって桜の木を守り、地元の人たちの憩いの場、また観光客にも愛される拠点となるよう行政とも連携してほしいと思っています。近くの高齢者施設と連携したイベントや、桜のイベント等を企画してもらえたらと思います。

団体からのPR

地域課題を的確に捉え、目標を定めます。また、客体の構成（環境）と多面的な活動内容の検討を経て実行に移しますが、出来るコト、出来るモノから始めます。常に、合意形成と信頼の醸成に努力します。

益田糸操り人形保持者会

【益田市有明町】



団体プロフィール

代表者名 岡崎 文宏
 設立年 昭和42年
 構成員数 20人
 助成採択年度 平成22年度
 問い合わせ先 TEL 0856-29-0930

移動公演用の軽量舞台の整備や
 ワークショップ用人形レプリカを製作
 「益田糸操り人形」を後世に

団体の足跡

全国3か所（東京、山口県周南市、島根県益田市）に現存する糸操り人形の一つで、島根県無形民俗文化財、島根県有形文化財の指定を受けている「益田糸操り人形」。これを、益田が誇る伝統芸能、文化振興・観光振興にかかる資源として、後世に長く伝えていくことを目的に活動しています。

活動内容

益田市にある島根県芸術文化センター「グラントワ」で定期公演を行っています。また、小学校や中学校での学校公演・出張公演の充実を図るため、移動公演用の軽量舞台を整備し、こどもワークショップ用の人形レプリカも製作しました。

このことにより、高齢化する会員の負担軽減のほか、児童・生徒が実際に人形に触れることで益田市の伝統芸能の見識を広め、後継者育成に繋がっています。会には小学生も入会し、定期公演では鳴り物で参加することができ、他の会員の喜びとなっています。



今後の展望

引き続き定期公演・出張公演・学校公演・こどもワークショップを行い、益田糸あやつり人形の周知と会員の増員に努めます。また、技術向上に努め、演目の完成度を高めていきます。

団体からのPR

県指定の無形、有形文化財の益田糸操り人形は、多くの方のご支援をいただき、県内外の公演を通してその価値や存在が認められてきたことを大変嬉しく思うとともに、ますます精進してまいりたいと思います。また、これを継承していく仲間も随時募集しています。

アニマルレスキュー・ドリームロード 【出雲市大社町】



団体プロフィール

代表者名 原 ゆかり
 設立年 平成22年
 構成員数 20人
 助成採択年度 平成24年度
 問い合わせ先 TEL 090-3742-7334

小さな命を救うことがすべてのはじまり
 悲しい運命をたどる動物たちを
 少しでも減らしたい

団体の足跡

安易な考えで動物を飼う人や、ルールを無視したエサやりなどによる動物を巡るトラブルが増え、殺処分される動物が増えています。悲しい運命をたどる動物を1匹でも減らそうと、アニマルレスキュー・ドリームロードを立ち上げました。

活動内容

保健所に持ち込まれるほんの一部の動物の保護や、一般からの相談への対処・指導、新しい飼い主さんへの譲渡、譲渡した動物がまた悲しい運命をたどらないように、ワクチン・フィラリア・避妊・去勢などの指導、飼い方の総合的な指導などを行っています。

猫に関しては、殺処分数やトラブル数が多いため、最も力を入れて啓発活動をしています。



今後の展望

一人一人の意識の向上や、他人に迷惑をかけないように動物を飼うことが、人と動物の住み良い社会づくりにつながっていきます。今後も他団体と積極的に情報共有を図り、大切な小さな命を救っていきたいと考えています。

団体からのPR

殺処分される小さな命を救うのには限界があります。救うのも大切ですが、不幸に殺処分される動物を増やさないようにし、殺処分を減らしていきたいと頑張る動物愛護団体です。

採択事業一覧

地域活性化支援事業（ステップアップ事業）

ステップアップ事業

【H20年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	地域自主組織 日登の郷	雲南市	日登れすとらん開店事業 雲南市木次町日登地域において、無農薬、有機農法で育ち、収穫された米や野菜、地域の恵みの水などこだわりの食材を使い、どぶろく特区を申請した「室山農園」のどぶろくと一緒に食べておいしい料理を提供するためのメニューを開発する。
	NPO法人 しまねコーチズ	大田市	笑おうや！ガンバルーン運動教室事業 運動補助具「ガンバルーン」を使用し、地域の高齢者等に楽しく効果的な「健康づくり運動教室」を出張方式により開催し、介護予防及び健康増進を図り地域の活性化に資する。また、無料教室の開催をはじめ、体験教室や指導者養成講座などを実施する。
	NPO法人 サポートセンター “どリーむ”	出雲市	島根から全国へ“音楽”で伝える障がい者自立支援メッセージ事業 障害を持つ人にとって働く環境が厳しくなった今日、いかにして自立を図るか。島根で活躍するアーティストに楽曲を提供してもらい、CDレーベルを立ち上げる。 また、CDジャケットの絵、ポスターなどの作成を障がい者施設に依頼し、彼らの雇用に貢献する。
	yasugi職人ライフ	安来市	地域産業及び連携強化事業～ yasugi職人ライフによる直接的活性化～ 安来市広瀬町、伯太町で事業を営む小規模事業者がネットワークを組み、共通の悩みを協力して「コラボレート商品の開発」「展示会」「座学研修」などを実施し、個々の発展だけでなく、地域産業の活性化を図り、地域への誘客や地域外マネーの獲得を図る。
	NPO法人 斐伊川流域環境 ネットワーク	松江市	八束・花と緑の島づくり支援活動事業 大根島残水域にソメイヨシノ、水仙や菜種等の植栽や収穫作業を地域住民とともに実施することで「花と緑のモデル拠点」とし、域内住民交流や斐伊川上下流域間交流などを促すことで、協働や地域自主活動の活性化を目指す。
第2回	子ご美会	大田市	子ご美の里「どじょっこクラブ」交流事業 従来取り組んできた山村留学の留学生（卒業生含む）とその家族を主な対象とした田んぼのオーナー制度「どじょっこクラブ」を立ち上げ、田んぼオーナーと地域がお互いにつながりを深める中で棚田再生と集落の活性化を図る。
	出雲・宍道湖 ツーリズムの会	出雲市	宍道湖西岸ツーリズム拠点作り事業 野鳥観察に訪れた人をターゲットとし、湖岸散策用レンタサイクルの設置・野鳥観察用望遠鏡の貸出・屋外イベント会場の設置・農業体験のメニュー化・地域特産品の開発等を実施することにより、宍道湖西岸地域の交流人口の拡大を目指す。
	多伎塩の華開発研究会 「多伎サンサンクラブ」	出雲市	多伎の海水を利用した天然塩製造開発研究事業 江戸時代から営まれてきた「塩製造」を自分たちの手で蘇らせ、多伎地域の歴史や文化とともに後世へ伝え、多伎町の特産物にこの塩を活用することで付加価値を高めることを目的とし、製造マニュアルの確立及び研究開発を行う。

【H21年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	味工房あかつき	安来市	農山村暮らし体験交流事業～西谷スタイル～ 味噌のオーナーを募集し、味噌づくりの工程のすべてに関わり「マイ味噌」をつくる。 その工程（田植え、稲刈り、塩づくり、豆たきなど）を通して都市部の人に農山村暮らしの体験の場を提供することで、西谷ファンを増やし、地域の活性化を図る。
第2回	マリンプルー	出雲市	神々の海からのメッセージ事業 日御碕海底の「海底遺跡のような地形」などについて専門家の指導のもとに調査・研究を進める。そして、その結果を地元住民と共有し、グッズの作成・販売を行うことにより、日御碕に観光客を呼び戻し地域の活性化を図る。
	NPO法人 たすけあい平田	出雲市	望むところへ旅するネット 高齢者、障がいを持つ人など移動することに制約のある人たちが、自由に移動し自分の望むところに外出できるような社会づくりを目指して、ニーズ調査を行う。また、接遇・介護技術、観光情報などの研修を行い、移送担当人材の育成を図る。
	水の都 プロジェクト協議会	松江市	嫁ヶ島と湖畔の資源を活かしたにぎわい創出を目指して ～地域資源調査・ガイド育成・地域マップ作成事業～ 嫁ヶ島を核とした宍道湖南岸湖畔一帯の自然・景観や歴史・文化資源を調査・研究し、これらを活用して観光振興のための基礎資料を作成する。また、観光ガイドの育成や地域資源マップを作成して、嫁ヶ島～宍道湖畔～白濁・天神界限一体への観光誘導の活動を行う。
	秦成塾	益田市	美都「学び舎」拠点施設・青少年育成環境整備事業 美都地区の学びの拠点となる施設の改修・学習環境の整備を行い、地域社会と連携した多様な形態による学習や交流の機会を設ける。それにより、郷土愛と自主・自立、国際的視野を備えた青少年の健全育成を推進する。

[H22年度採択分]

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	佐世だんだん倶楽部	雲南市	佐世地区西阿用定住対策拠点施設整備事業 人口減少が進み地域が寂れゆく中、豊かな自然を守り、活気溢れる地域を取り戻すため、交流人口の拡大を目指した事業に取り組む。具体的には、佐世地区南西部の活動拠点を整備し、田舎暮らし体験・農業体験ができる交流拠点に活用。同施設でのイベントを企画し、交流人口の増加を図る。
	楽農会22	邑南町	放牧手法を取り入れた和牛肥育による地域活性化プロジェクト 地区内において、放牧手法を取り入れた和牛の繁殖・肥育を行う仕組みづくりとして、電柵、簡易牛舎などの設置を行い、実験的に和牛の放牧に取り組む。これにより、有害鳥獣の被害、豊かな田園風景の保全、和牛農家の育成といった課題解決を目指す。
	有限責任事業組合 大根島ねっと	松江市	大根島雲州人参再生プロジェクト 島根県の特産品である高麗人参は世界市場で高い評価を得ているにもかかわらず、生産数が減少し、耕作放棄地も増加している。このような状況の打開のため、人参の栽培期間短縮を目指した苗の大量育成や、栽培技術の研究、栽培マニュアルの作成・公開を行う。また、新規参入者、高齢者、Uターン者への人参栽培をサポート。インターネット、雑誌等による新しい販売網の確立も目指す。
第2回	さんきんざろん	安来市	『米麺工房』プロジェクト 地区の主力作物である米を地域の農家から購入し（JA出荷価格より高値で買い取る）、廃校を利用した加工施設で、米粉の麺の製造・販売を行う。商品アピール、販売のためのイベントも定期的に行い、販売数の増加を図る。将来的には、パートの雇用も見込む。
	鶴鷺げんきな会	出雲市	地区再生に向けて 第3弾 果樹園復活事業 近年、鹿の繁殖やナラ枯れによって山が荒れ放題となったことによる、地区住民の収入減や生活不安等を解決するために、山林を整備・活用する事業に取り組む。具体的には、独自の鹿防護柵を設置した果樹園の基盤を整備し、柿・クリ・ハナノキ・シブキ・サカキなどを栽培し、3年目以降の収穫を目指す。また、地域独特の味を持つ「干し柿」の製造・販売を行い、地区の収入源とする。

[H23年度採択分]

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	えねる工房やさか	浜田市	弥栄型の薪ストーブ開発 弥栄型薪ストーブを開発し、製作からアフターサービス、薪の供給を弥栄町内で行うためのモニター調査を行う。また住民主体で設立された他団体と協力し薪が供給不足に陥らない体制を構築する。さらに森林を楽しむイベントの開催や地域の高齢者と地域外から興味を持つ人を集客し交流機会を創出する。
	AMA-net	海士町	島暮らし民泊「あまらや」プロジェクト 現在、島前地域には民泊施設の取り組みがなく、既存の宿泊施設も高齢化が進み宿泊業の衰退が懸念される。島自体の高齢化・人口減少も進んでおり、空き家が目立つ。そこで、空き家を利用して民泊の取り組みを行い、島の暮らし体験や交流の場づくりを行う。(田舎ツーリズムへ登録し、民泊を行う。)島暮らしの魅力を体験・伝えるとともにインターネットを活用して情報を発信する。
第2回	マルシェ高津川 コンソーシアム	益田市	マルシェ高津川による販路開拓事業 高津川流域の加工品、農産物などを取り扱うマルシェ（市場）を定期的開催し、生産者と消費者がコミュニケーションをとれる場を通して「すれ違い現象」を解消すると共に、デザインの力を活用して若いママ世代でも行きたくなる場づくりを創出する。WEBを用いた販売方法を立ち上げ、異なる生産者や加工品の商品をパッケージ化して販売できる体制を作る。
	カフェうさぎ	出雲市	『カフェうさぎ』プロジェクト 鶴鷺地区で食事・飲み物を提供するカフェを運用し、住民の閉じこもり予防や、他地域からの交流人口の増を促す。また、定期的なビデオ鑑賞会、コンサート、個展等の開催や、不要図書や書籍の寄贈による文庫スペースの設置、地域の人材・産物の利用、農産物、水産物の加工品の直売を行う。

[H24年度採択分]

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	NPO法人 ネクサスしまね	松江市	ソフトウェア開発訓練による在宅就業支援事業 障がい者、高齢者、若年者、ひとり親世帯等における就業の確保、またワークライフバランスの向上のために、在宅就業に繋がるプログラム等の学習の機会を設置。具体的にはオープンソースソフトウェアであるRubyについて指導し、プログラミングやホームページの作成を在宅就労でも可能となるスキル向上を図る。受講修了者には在宅業務を提供し、業務成果に応じた報酬を支払う。
第2回	NPO法人 河南はつらつセンター	出雲市	地域活性化プロジェクト 生活の支援を依頼したい高齢者や独居者と、技術知識などを地域のために活かしたい高齢者や離職者の要望をマッチングするため『河南はつらつセンター』を設立。家の周辺の草刈り・家の中の整理片づけなどの環境保全活動の実施や支援事業、買い物・通院等の支援や衣類補修等の家事援助に関する事業、パソコン教室等の職業能力の開発及び支援に関する事業に取り組む。

地域活性化支援事業（ジャンプアップ事業）

【H20年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	エゴマの郷	川本町	エゴマ加工施設整備及び商品開発事業 エゴマは、近年健康食品として需要の拡大とその認知度を高めており、川本町の転作奨励作物でもある。エゴマ加工施設・設備の整備充実を図り、より付加価値の高い商品開発、商品アイテムの拡大、加工頻度・製造量を高め本格的な生産・販売体制を整える。
	キラリ・アソシエイツ	松江市	しまね・まち・ひとづくり事業 山陰の素晴らしいものをPRするために創刊したキラリだが、これまでに培ってきたネットワークを活用してデザインを学ぶ若者に対して日本トップクラスの講師陣による実践の場を提供する。また県内の設計、建設業界での仕事づくりの共同研究及び研鑽の場づくりを行う。
	古志古民家塾	出雲市	古民家「土の子」ツーリズム事業 古民家での生活体験から現代の消費型生活を見直し『暮らしの豊かさ』を提供。これまでの活動をさらに拡大し、多くの人を受け入れるために拠点の整備を図り、さらにメニューを充実させることにより、自然環境と共生しようとする人材を増やしていく。
	チームぢげもん	松江市	みんなでひろげよう“しまねのいいもの”の輪っ! “しまねのいいもの”をより多くの方にPRするために塩見縄手周辺に商品の魅力や物語などを感じられる販売・体験拠点を整備し、生産者同士の交流や消費者も参加できるイベントを開催し、消費者のニーズにあったものづくりを生産者と連携し、研究・開発する。
	武良自治会	隠岐の島町	武良発!島まるごとゴミゼロミッション 中村地区で始めた、家庭から出る生ゴミを化石燃料などのエネルギーを使わないダンボールコンポストによって堆肥化する方法で、家庭ゴミの減量化を図る取り組みを、隠岐の島町内全域での取り組みとして拡大することで、安全で安心な島まるごと循環型社会へと展開する。
第2回	隠岐海産物加工センター	隠岐の島町	隠岐産海藻アカモクの特産化の取り組み事業 アカモクの採取、加工、販売の振興により、高齢化の進む津都地区漁業関係者の厳冬期の収入確保を目指すとともに、収益の一部で広葉樹の苗木を100~200本購入し、地域住民とともに山林の保全活動を行い、地域間交流等のきっかけにする。
	NPO法人 暮らしアトリエ	雲南市	島根の魅力を活かした「くらしの学校」事業 若い世代に向けて“学べる場所”を提供するために、「くらしの学校」を開設し、暮らしの延長線上にある学びを開拓していく。そのために空き家の施設整備を行い、学びたいと思う一般の人と、作り手や生産者が集うための拠点を確保する。
	メリーさんの会	出雲市	羊と、刈り毛を活かした特色あるむらづくり活動事業 草刈り隊として羊を地域に導入したのをきっかけに、「何か自分たちの地区の自慢がほしい!」という想いから、せっかく飼っている羊と捨てられる刈り毛を活用して“窪田ウール”として地域の特産物に育てる。施設整備を図り、製品加工の拠点を確立して本格販売を行う。
	農事組合法人 ゆいの里美都加工部美都60	益田市	「美都60山里茶」の生産加工施設の整備、商品開発事業 自然生育及び栽培による10種類の原材料を採取・ブレンド加工し「美都60山里茶」を製品化、販売促進を行う。地区内の遊休ハウス施設を移設改修し、乾燥・加工・貯蔵施設として整備する。商品開発、販路拡大、経営研修など先進地調査、会員研修を実施する。

【H21年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	NPO法人 竹でだんだんしまね	松江市	グリーンツーリズム拠点設立事業 放置竹林を整備するとともに敷地内の放置家屋を整備して、体験宿泊施設とする。施設内では大人と子供と一緒に遊びを考え、作ることによる親子の触れ合いや、豊かな想像力を醸成するプレーパークや、自然を体験するキャンプグラウンドを運営する。また、宿泊施設を利用して農の体験を行うことにより「自然」、「農」、「食」への関心を喚起し、情緒豊かな子供を育成する。
第2回	姥祖父いきいきクラブ	安来市	姥祖父いきいきクラブ高齢者パワー発揮事業 高齢者のパワーとこれまで培ってきた知恵を活かすことで、蕎麦、キノコ、にんにく、落花生等の栽培による通年収穫体制と、完売システム「おまかせ会員」制度による収益事業を行い、姥祖父地区の高齢者の生き甲斐と就労の場づくりを行う。本事業の実施により近隣のシルバー人材センターの季節的利用や休耕田の活用といった副次的効果もある。
	NPO法人 石見ものづくり工房	大田市	福光「石切場・地下空間」の活用による施設等整備事業 地元の歴史ある産業資源「石切場・地下空間」を、安全・防犯対策、トイレ整備・案内体制整備などの環境対策を施し、地域住民が主体となり、交流・観光資源として一般・観光客などに開放することで温泉津温泉観光との一体的な効用を図る。また、石見神楽公演、ミニ音楽会の企画運営、他団体等の行う各種イベントの支援を行うことにより魅力ある町づくり、交流人口の増加を図る。
	陶夢プロジェクト	松江市	地域企業との連携による新産業開発事業 衰退する来待石産業の再生を図るため、来待石加工業者、陶芸家、紙工芸家、デザイン大学、販売業者等が一体となって、企画・デザイン・製造・プロモーションを総合的に行うことで「売れる商品づくり」を行う。本事業により、来待石の製品ラインナップを豊かにして、来待石全体の需要を増やすことで来待石産業の維持・再生を図る。

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第2回	隠岐観光義塾 有限責任事業組合	隠岐の島町	地域の魅力発信・伝道力強化事業 隠岐の島が国内版ジオパークに指定されたことを契機として、隠岐島の観光資源を活用した新たなルート開発や体験型メニューの開発を行うとともに、それらの商品を伝道していくための観光ガイドの養成を行う。本事業により、これまで埋もれていた資源の紹介や新たな隠岐の魅力を発信することで、観光客の誘致やリピーターの獲得を行い、隠岐島の振興を図る。
	三光ビル管理株式会社	益田市	障がい者スポーツ普及事業 スポーツ施設拠点における車いすバスケットボール教室の開催運営を行い、障がい者スポーツの面白さ、競技としての楽しさを伝えながら障がい者、健常者間のコミュニケーションの向上、障がい者理解の促進に取り組む。また、出張体験講座や、障がい者等スポーツの指導者、ボランティアサポーターの育成により障がい者スポーツの普及、圏域の活性化を目指す。

【H22年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	地域自主組織 日登の郷	雲南市	どぶろく&田舎料理グレードアップ事業 ステップアップ事業にて開始した田舎料理提供事業について、自主組織としての収益増大を目指す。具体的には、客室のレイアウト変更により収容客数を増やすとともに、古民家の魅力を引き出し、更なる集客・収益を目指す。また、専用厨房を新設し、営業機会を増やし、収益増大を図る。さらに、県内外の方を対象としたイベントの開催、県外イベントでのPRを通し、都市との交流を図る。
	NPO法人 飯梨川再生ネット	安来市	飯梨川下流域の自然再生と河川敷牧草栽培事業 しまね協働実践事業で行った飯梨川下流域河川敷の竹・雑草の伐採事業を土台とした事業を行う。飯梨川河川敷での牧草の収穫・ラッピングを機械の導入により内製化し、経済的自立を促進する。また、収穫した牧草を地域の畜産農家に販売し、地域内での経済的循環を確立。中海を汚染するオゴノリを堆肥として活用する実験を行う。
	NPO法人隠岐しおさい	隠岐の島町	“共生”から“共創”へ！隠岐コミュニティブランド創出事業 隠岐の島町西部都万地区の観光・交流拠点施設の不足、漁業機能の低下、それに伴うコミュニティの衰退の解決を目指す。同地区の幸せを感じることができる観光(感幸)交流体験の実施(郷土料理調理・椿油搾り等)や、地域資源の特産品化とその開発・販売(海産物加工品・椿油石鹸等)。また、産直問屋しおさいを拠点とし、修学旅行の受け入れ・田舎ツーリズムを実践する中で、定住をサポートする。
	株式会社ほんき村	浜田市	精米施設を活用した弥栄体験「受け皿」創り 浜田市弥栄町に整備した精米施設と下屋や空間を活用した活動に取り組む。かまど炊き体験、ピザ窯による米粉ピザ及び米粉食品づくり体験等の交流事業による交流人口の増加を目指す。また、地域の生産組合・加工グループとの連携による「まるごと弥栄町」の情報発信を進める。
	おみず会	浜田市	交流拠点『たばせ屋』施設整備 癒しの農山村等体験交流ホットステイ事業 浜田市田橋町では高齢化・人口減少による地域活動等の自主性と主体性が衰退している他、地域の活性化生産活動も衰退している。これらの課題解決に向け、事業に取り組む。具体的には、交流拠点『たばせ屋』の整備や、森林と水、環境保全など地域資源を活用した「しまね田舎ツーリズム」事業の展開、四季に応じたイベント等の開催を進める。
第2回	株式会社エイト	益田市	美都温泉いきいき産直市場の運営事業 2つの農産物直売所を統合拡充し、美都温泉「湯元館」の敷地内に建設される直売所の運営に対し、売上管理と事務処理を正確・迅速に行うためのPOSレジシステムを導入。また、効率的な陳列台を設置することで顧客との交流を生み出す。さらに、直接出荷する輸送手段を持たない生産者のための集荷体制を整備。オープンイベント、定期イベントも開催し、認知度向上のための広報活動を行う。
	株式会社あゆみ 頼原地域デザイン 研究会(共同申請)	飯南町	「療養温泉」への特化による地域再生事業 高速道の開通により頼原では交通量の減少により地域力の低下が予想される。このため、天然炭酸温泉を整備し、地域に人を呼び込む核拠点とする。体の不自由な方からの要望の多い家族風呂建設による、療養温泉への特化を目指し、集客拠点とする。地元産の農産物を活用したメニュー開発、地元農産物、加工品の販売を展開し、販売を推し進める。
	有限責任事業組合 わかめの里片句こい グループ	松江市	片句わかめの茎とめかぶを活用した加工品の製造・販売 地区内の空き家を加工施設として整備し、現在利用されていないワカメの茎とメカブを活用した加工品(当面は「茎ワカメの万能味噌」と「メカブのドレッシング」)を製造・販売する。イベントを中心に製造・販売を行う一方で、松江市を訪れる観光客をターゲットとして温泉地の旅館や飲食店での販路を開拓する。
	かんばだん	出雲市	竹パウダーを使った「かんばだん」の野菜づくり事業 地区内に繁茂し獣害を誘発するなど地区住民の生活を脅かし厄介者となっている竹を間伐し、粉碎機により竹パウダーとすることで、地区内の竹林維持管理を行うとともに、地区内全戸が会員である同団体が取り組む野菜等の栽培・加工にこのパウダーを活用する。具体的には、竹パウダーを有機肥料と混ぜた「竹堆肥」、また「家庭菜園用竹パウダー」等として有効利用する。

【H23年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	須佐のみやげ屋 (須佐屋)	出雲市	東須佐地域活性化プロジェクト パワースポットブームにより須佐神社には多くの観光客が訪れているが、休憩・軽食を取れる場所や観光案内所が無い。また、地域の特産品の有効利用が為されていない。獣害も多く猪などが処分されるが、その獣肉の有効利用もできていない。そこで、閉店予定の地域の商店を改装し「峠の茶屋」を設け、休憩、軽食の提供や、地域特産品を活かした新商品の販売、獣肉製品の販売、観光案内等を行う。
	NPO法人 明るい農村かのもと	川本町	地域資源は「ひと」で売る「農村いきいきカフェ」整備事業 Uターン者やお年寄りの技を活かし、Uターン者の技術を活かした「カフェ」を経営し、コーヒー以外に地元の高齢者が作る野菜を使った「田舎菓子」、Uターン者の生産する「羊肉」を看板メニューとする。また、「カフェ」にギャラリーを併設し、質の高い手作り商品を展示販売。次の人材を発掘育成する。「カフェ」は若者の出会いの場、世代間交流としても機能。また田舎ツーリズムの拠点としても活用する。
	株式会社 伊勢宮界限 元気プロジェクト	松江市	伊勢宮界限元気創出事業 新大橋商店街周辺は人口減少と高齢化が顕著で、情報交換の場づくりや地域の一体感の希薄化、昼間の賑わいの低下、夜間の安心・安全の確保が課題。地域の魅力発信も十分に行われていない。これらの課題解決へ、地域性を活かしたイベントをはじめ、宍道湖七珍・スズキ祭、シジミ汁屋台、地域情報誌の発行、まち歩き観光、コミュニティスペースの運営、見守り隊や道案内の設置に取り組む。
第2回	美保関観光株式会社	松江市	美保関の集客エンジン 灯台ビュッフェリニューアル・プロジェクト かつて観光地として賑わった美保関は、観光客の減少に伴う地域全体の活力の低下や、観光客に対して美保関ならではの“食”を提供する場が少ないという課題がある。このため、灯台ビュッフェの料理メニューを一新し、店舗内の装飾などにもこだわりリニューアルオープンする。料理には美保関港で水揚げされた魚介類を利用し、地域の旅館と連携し、夏の漁火などを楽しむ夜のカフェにも取り組む。
	株式会社 山陰スポーツ ネットワーク	松江市	地域住民のスポーツ振興と健康づくり ジュニアを対象としたバスケットボール、スポーツ教室を開催。遠隔地で教室に参加できない子ども達のために夏休みのサマーキャンプも行い、直接現地で指導を行う。成人（シニア）世代には健康づくりを目的とした運動が出来る環境づくりの場を提供。地元で活躍しているプロの選手たちによる指導者の養成や最新のスポーツ技術、情報の伝授を行う。また、管理栄養士による食事面からの健康指導を行う。
	乙立柚子の里	出雲市	『柚子の里』活性化プロジェクト 乙立では柚子が地区唯一の特産となってきたが、価格低迷や生産者の高齢化、直売所で販売している「ゆずポン酢」「ゆず味噌」の採算性などの課題がある。これらの解決のため、加工販売を強化し、収益性を高める。更に規模の拡大を目指し、搾汁器の導入による衛生面の改善と新規の商品開発を行う。新規商品としては柚子酒や柚子ドリンク、柚子ゼリーの開発を行う。

【H24年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	奥出雲ツーリズム	奥出雲町	温故知新（古民家を利用した週末そば店） 地元特産のそば粉を使った「週末そば店」を開店し若者1名を通年雇用する。そば屋の経営ノウハウやそばの打ち方及び古民家周辺の維持管理の仕方等を通じて団塊の世代の経験や知識を若者に伝授することにより、若者の働き場のイメージ改革や自らが起業する気概を醸成。また古民家を店舗として利用することにより日本の原風景を構成してきた古民家の消失を防ぐ。
	いわみ創工株式会社	江津市	「風のえんがわ」～ Blow a wind to gotsu ～プロジェクト ～人、食、農をつなぐ、継続的な地域づくりへの新しい風～ カフェ事業（食の風）として空き家を活用した古民家カフェを展開し、地域食材を活用する。また、イベントの企画、運営（人の風）緑列のような気軽に過ごせる居場所の提供イベントを実施。料理や農業体験、動物ふれあい体験等、人と人、農、食、のつながりをプロデュースする。さらに就農者の支援と定住促進（農の風）耕作放棄地や空き家を斡旋し、地域での就農と定住を促進させる企画をプロデュースする。
第2回	有限会社富喜丸水産	隠岐の島町	隠岐ブランド「あごだし」加工・販路拡大プロジェクト 隠岐の島特産のあごだしはほとんどが個人加工業であり、高齢化に伴い廃業も増え、あごだしの加工が減少。それに伴い加工を本土に出荷することになったため、あご漁も減少している。そこで「漁獲物への付加価値」や「漁獲物の商品開発」に取り組むべく、事業継続及び経営安定の推進体制の構築、精算事業者と漁業者との連携強化、機器の整備、新商品開発、販路の拡大といった事業を実施する。
	NPO法人 しまねMICE推進協議会	松江市	MICE推進事業 県内にはPR出来る有用な情報素材が多く存在しているが、認知度を得るための活動が十分とは言えず、埋もれている素材も多い。そこで、MICEを推進することで消費額の多いビジネス客を増やし、観光とも連携をとる。また有用な地域情報を活用するための共通プラットフォーム(基盤)を形成する。遅れている通信環境面の対策として、公衆無線LANを普及させる。
	農事組合法人 まめなかファーム新田後	出雲市	夢のある地域農業モデル創出事業 現在、キムチを中心とした漬物を製造・販売しているが正規の加工場がないため、地区の集会所や会員の自宅で加工作業を行っており、衛生面や作業効率の面で問題を抱えている。新たに加工場を新設して製造作業の効率化と安全・安心な商品づくりを行う。また、新たに保健所の営業許可（総菜製造業）も取得し、イベント出店でしか販売できなかった地域の伝統食品等の商品化も行う。

社会貢献活動支援事業（単年型事業）

【H21年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	おもいやりネット出雲	出雲市	いずも「赤ちゃん登校日」 人とのように関わればよいか分からないために起こる「不登校」、「いじめ」、「児童虐待」などが見受けられる。この事業では出雲市内の小学校の協力のもと0歳児の赤ちゃん和父母に学校へ来てもらい、児童と継続して関わりを持つ授業を行う。児童達は赤ちゃんと接することで人の命の大切さを知り、父母は我が子が児童に慈しまれる様を見ることで我が子への接し方を見つめ直す機会となる。
	やまぼうし	出雲市	福祉施設における音楽療育事業・子育て支援事業 老人ホームに入所するお年寄りは家族との交流が希薄になり、寂しい毎日を過ごされている。また子供達は家庭内での一人遊びが増え、他人との接し方を学ぶ機会が減少している。団体のメンバーが、培ってきた趣味や特技を活かして老人ホームや公民館等を訪問し、バンド演奏による音楽療育や凧づくり・そば打ち体験等を通じた支援活動を行う。
第2回	NPO法人ひまわり	浜田市	ご当地ソング“佐野の郷音頭”制作 日々の生活に意欲が湧いてこない年金生活者・高齢者、壮年者、独居老人の孤立生活からの解放と世代間を超えた町民の交流、町内行事の活性化を目指し、町内の名所・言い伝えなどを集めた「いろはかるた」を取り入れた“佐野の郷音頭”と振り付け（踊り）の制作を行う。また音頭を練習・発表する事による世代を超えた町民の交流の場の創出を図る。
	NPO法人総合ケアセンターのぎ	安来市	母子支援事業（育児相談・母乳ケア） 安来市の山間部には、出産後の母乳ケアや育児相談で悩んでいる親も少なくない。当地域は、過疎化が進んでいることもあり親同士が連絡を取り合っ情報交換することも容易ではなく、自宅訪問による産後のケアや育児相談が必要である。併せて、ベビーマッサージ教室やママサロン、父親教室等を開催することで、安心して育児ができる環境づくりを行うことで少子化対策の支援を行う。
	NPO法人ひだまり	松江市	工賃向上の為に木工製品開発事業 障がい者の人達の作業工賃を向上するため、木工製品の製造・販売及び新製品開発の事業を行う。具体的には、雲南市老人会から木工製品の仕上げ加工の指導を受けながら製品づくりを行う。また、製造した木工製品等を地域の祭りやバザー、天神ショップ（松江テルサ内）等で販売することにより、障がい者の人達の工賃の向上を図るとともに、社会参加することの喜びを知ってもらう。
	NPO法人浜田フットサルクラブ	浜田市	スポーツ教室開催における指導者の指導力向上事業 浜田市においてはサッカー・フットサルに関する指導者が不足しており気軽に行える場所も少ない。この事業ではフットサル指導者を招聘しての指導者研修や、キッズスポーツ、フットサル教室の開催、教室等指導現場のVTRを活用した事例研修とミーティング、指導技術等のビデオライブラリー化を行う。このことにより高いサービスが提供できるようになる。

【H22年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	紫の風	松江市	性同一性障害児・性同一性障害者とその家族に対する自立支援のためのコーディネート事業 性同一性障害児・性同一性障害者とその家族への相談・自立支援コーディネート事業や、講演会開催・しまね人権フェスティバル出展参加・啓発用リーフレット作成、医療関係者、教員などの専門職向け研修会を行う。
	浜田を明るく照らし隊	浜田市	大学生と市民で安心安全な町を考えよう 安心安全に暮らすために、自分たちで実際にできることを考え実行に移すワークショップを開催。また、ワークショップで考えた具体的な事業（あいさつ、門灯）をより多くの市民に理解してもらうための普及活動を展開。さらに、島根県立大学生との交流活動の実施や、市内の小中学校で安心安全への取り組みを依頼する。
	久佐自治振興会	浜田市	久佐憩いの場創出事業 旧久佐小学校の校庭に芝生を張り「久佐憩いの場」として整備する。芝の育苗管理を集落単位で行い、その育成した芝生を子供から大人まで参加して張る。また高齢者等の社会参画を促す狙いから芝生管理を任せ活動の場を与える。整備した「憩いの場」では運動会などに活用し、人と人が触れ合う絆を確認する場所として活用する。
	赤雁元気ばかもん隊	益田市	赤雁ばかもん隊決起事業（10年後桜の下で花見こと興し事業） 赤雁元気ばかもん隊（Uターン者他）を結成し、赤雁のシンボル「天道山」の環境整備と桜の木の植栽等、交流拠点の整備を行う（9～5月）。また、耕作放棄地の活用と赤雁特産品の開発（8～12月）や、交流事業の参画（8～7月）に取り組む。
第2回	NPO法人五輪福祉会	松江市	障がい者が地域で暮らす環境を整え社会生活の自立を支援する事業 宍道町では作業所が少なく、障がい者有する方が地域内で就業の機会を得ることが難しいという現状を解決するために、NPO法人として通所型作業所にて植生基盤材の製造や、培地材の袋詰め、植生培地在製の植木鉢製作を行うことで、作業を通じた通所者の生きがいと喜び、社会参加への意欲を支援することを目指す。

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第2回	川本町障がい者福祉協会	川本町	障がい者の社会参画・地域交流コミュニケーション事業 人口減少による高齢化に伴い限界集落が増加する中、障がい者や高齢者が孤立化する傾向にある。こうした問題を解決するため、障がい者と地域住民のコミュニケーションのネットワーク構築を図ることを目的に、パソコンや携帯電話を活用した意見・要望等の集約、ホームページやブログにアクセスすることをとおした交流促進、行政情報や行事予定等の速やかな情報受発信、会員IT研修事業を行う。

【H23年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	採択なし		
第2回	サツマイモ普及研究会	出雲市	サツマイモの普及活動 農産物の生産コスト上昇や農業従事者の高齢化により、農地が荒廃し、耕作放棄地も広がっている。このような問題解決のため、簡単なサツマイモの育苗、保存方法等の普及本の製作や、講習会時のデモ用の焼き芋機の製作に取り組む。また、この本と焼き芋機を用いた講習会の開催によって、サツマイモの普及活動を行う。
	めだか論語普及会	松江市	論語の素読普及活動事業 現代は無縁社会ともいわれ、絆や社会秩序が喪失されがちである。そこで福祉教育の手段のひとつとして、論語を学ぶ機会を創出する事業を行う。具体的には、講座を実施し、論語素読のリーダーを養成。論語素読塾を開講する。子ども、障がい者、高齢者に向けた出前講座も実施。また、親子で論語に親しむ講演会を実施する。
	伊野地区壮年会	出雲市	伊野地区活性化事業 少子・高齢化が進行する中で、地区内・世代間の交流の機会が減っている。そういった交流の機会をつくり、活力のある地域をつくるために地元若手の壮年会が主体となって事業を行う。高齢者グループとも協力して世代間交流の機会をつくる。具体的には、盆踊りの復活に伴い、新規のイベントを行う夏祭りの開催や、高齢者と小学生で行うふれあい運動会の開催。
	スローライフ棚之屋	雲南市	ダム湖の郷における地域振興及び安心安全プロジェクト 尾原ダム建設により過疎化が進み、お年寄りの一人暮らしが多くなっている。また、観光客など様々な人が出入りする中で、不審者・不審車両が増加すると思われる。安心・安全な生活を維持するため、地域の安全パトロール事業や、雪かき、草刈り、健康状態の確認等の猫の手隊事業に取り組む。
	「希望の歌」実行委員会	浜田市	井野小 どりーむ企画 過疎化と小学校の統合が進む浜田市三隅町井野地区。地域の魅力を地域住民が再確認し自ら過疎問題に向かっているよう、子どもたちの活動記録の上映や、同じく過疎・統合問題を抱える地域で活動している人の講演会の開催、スクールコンサートの開催による魅力発信、定住促進、定住サポートとの連携による情報発信に取り組む。

【H24年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	隠岐アートトライアル実行委員会	西ノ島町	図書室のイメージを育てる活動 西ノ島には図書館など文化的交流施設がないので本を楽しむという状況がない。そこで、閉校となった美田小学校の図書室機能を盛り込んだ活用事業とタイミングを併せて、元小学校図書室でのトークイベント開催、トークを踏まえて模擬図書室の展覧会とシンポジウム開催、それらの活動を通してソフト面を含めたイメージ情報を蓄積し、その成果を美田学校再生協議会へ提言するなどの事業を行う。
	シニアネットはまだ	浜田市	ITを活用した安心安全啓発活動・図書館支援 利便性・効率性の高いITを有効活用した電子紙芝居を使った啓発活動で社会の不安解消に努めると共に、電子図書館の機器に対応できない市民をサポートして、支え合って生きる社会の実現を目指すため、啓発運動や電子紙芝居の実演、電子機器のサポーターとして先進地視察などの事業を行う。
	三隅獣肉利用研究会	浜田市	イノシシ肉有効利用研究 イノシシによる被害を防止するため、獣肉を食肉とした料理を創作し、地域に広くPRすることにより農作物被害の減少と過疎地域の活性化を図り、イノシシ捕獲の魅力やPRすることにより、減少傾向にある狩猟者の増加に繋げる。具体的には、イノシシ捕獲檻の製作、捕獲・解体研修、先進地視察、モニターによる市場調査、創作料理試食会、創作料理レシピ本の製本・狩猟者登録のPRに取り組む。

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	NPO法人 しまね子どもセンター	大田市	『ホットとアートプレゼント』支援の輪広げようプロジェクト事業 入院中・闘病中の子どもたちに、病院の中で文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちのQOL向上に寄与する。具体的には、島根大学医学部附属病院小児センターへの提供とポスター・招待状の作成。スタッフの研修や、音楽療法士による音楽ワークショップ(3回)、絵本の読み聞かせ(2回)も実施する。また、市民の善意と闘病中の子どもたちを繋ぐツールとしてのパンフレットの作成に取り組む。
	NPO法人 人づくり委員会こみと	江津市	うた&トークの宅配便 高齢者の孤独化、核家族化の2つの問題を解決するため「うた&トークの宅配便」事業を行う。聞いている高齢者が感激できるように全力で歌を披露し昔話をお聞きする。地域の子もたちとその保護者を同伴し、高齢者との交流の場を設ける。大学生や高校生には、子どもと高齢者をつなげるコミュニケーション活動に関わってもらう。地域の方にも高齢者と子ども・保護者をつなげるお手伝いをお願いする。
第2回	3・11 メモリアルウォーク あらぎ実行委員会	出雲市	3・11メモリアルウォークあらぎ「あの日を忘れない」プロジェクト 地域の転入者や若年者が地域の歴史、地理について認識不足であり、また「防災」を意識していながらも実際にはどういった備えが必要か、また家族や住民同士で話し合う機会が少なくなっている。そこで、避難所へのウォーキングや実際に炊出しを行う「3・11メモリアルウォークあらぎ」と、その結果の話し合いや防災DVDを観る『あの日を忘れない』地域の防災をみんなで語ろう座談会を行うこととする。
	郡山すくすく笑顔の会	邑南町	地域で支える子育て支援事業 少子高齢化、核家族化の中で世代を超えた関わりやふれあいが少なくなり、郷土の食文化に触れる機会も減っている。このため、畑の整地から一連の農作業を地域の人々と一緒にいき、収穫の喜びを味わうと共に販売体験を行う。また、昔から伝わる手作りおもちゃの製作を地域の人の援助で行い、ともに遊ぶ。さらに、季節に応じた伝統ある食文化に触れ、料理・会食で世代を超えたふれあいを深める。
	だいじょうぶだけん! 島根県! ~きずな応援 プロジェクト~協議会	雲南市	だいじょうぶだけん! 島根県! ~きずな応援プロジェクト~ 高齢者、障がい者の生きがい作りや生活不安等の課題に対し、事業を行う。具体的には、月に4回以上、参加者の方々と相談しながらコミュニケーション畑作業を行う「ここちり\café」や、島根大学の学生や子ども達と地域住民が地区の探索やワーク活動を行い発表する「いいとこ発見プロジェクト」、プロジェクトを紹介するサイトを作成し、寄付を頂いた企業の紹介も行う「絆情報共有プロジェクト」に取り組む。

社会貢献活動支援事業（複数年型事業）

【H21年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	ござんせCUP 実行委員会	隠岐の島町	交流人口拡大推進事業 県外の学童野球チームを招聘し、島内の学童チームと学童交流野球大会を実施する。島内の子供たちと島外の子供たちが交流することで相互に見聞を深めることができる。また、地区の集会所等を利用した合宿形式による受け入れ態勢をとることで、学童と地区民との世代間交流の促進にもつながる。この事業では、野球大会はもとより、隠岐の魅力に触れてもらうためマリンスポーツの体験も行う。
	NPO法人 斐伊川流域環境 ネットワーク	松江市	八束・花と緑の島づくり支援活動事業 現在、荒廃地となっている八束町内の中海干拓旧残水域に、菜の花や水仙の植栽、桜の木の植樹を行い「花と緑の交流拠点」を整備し、“おもてなし空間”として情報発信を行う。地域の“おもてなし空間”が整備され地域経営のコアができることで、観光誘致、商工振興、環境分野における様々なプロモーション戦略が可能になる。
	NPO法人 ファミリーサポート ホーム 金太郎の家	出雲市	はっけよいもっともっと輝いて応援プロジェクト 高齢者、障がい者の集いの場整備事業 虚弱高齢者や障がい者の方が出かけて交流する場が不足している。さらに、21年度から介護保険の認定の方法が変わり、通所サービスを利用できなくなる高齢者が増加することが予想される。そこで、金太郎大学や川柳会等の6つのグループ活動を充実させ、家に閉じこもりがちな虚弱高齢者や障がい者の方に多数参加してもらい、機能低下の防止や介護予防効果を図る。

【H22年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	NPO法人 らんぐ・ぎーむ	浜田市	少子化対策 未婚・晩婚者たちの出会い創出事業（交流&居場所） 参加者同士が交流することによる「自分磨き」に加え、専門家等によるマナー講座等を開催し、気軽に参画できる交流教室や「心に温もり」を体感できる居場所づくりに取り組む。当事者が気軽に立ち寄り相談できる居場所づくりと、活動の理解者との更なる連携を図る。
	在日本大韓国民団 島根県地方本部	松江市	第7回島根県民団市民交流会 10（シ）月（ウオ）の（レ）マダン（広場） 文化交流・共生を計るため、衣食住などの異文化に触れ相互理解を深めるイベントを行う。具体的には、年間6回行っている交流イベントの集大成として、イベント「10月のマダン」を実施。事業の企画に韓国人、日本人、日本人以外の外国人も積極的に参加し、意見交流することで人的交流を深める。また、屋台村の設置や、日本、韓国、アイルランド等の民謡・舞台等の芸術公演を開催する。
	益田糸操り人形保持者会	益田市	益田糸操り人形保持者会 活動基盤整備事業 学校公演、出張公演の充実を図り、存在価値を広く周知する。移動公演の利便性を高める軽量舞台の新規整備を行う。また、学校公演用や子どもワークショップ用の人形レプリカを製作。一流講師による講習も行い、技量の向上を図る。さらに、背景幕、練習確認用のビデオ撮影機、再生装置の新規整備を行う。識者・専門家による人形のメンテナンスにも取り組む。

【H23年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	地球のステージ 益田実行委員会	益田市	地球のステージ益田～見て見ぬふりをしない支援のために～ 異文化への興味、関心を喚起し、国際社会で活躍したり関心をもって活動している地域の人材をその地域に紹介する事業を行う。人権意識やボランティア意識を喚起し、あわせて世界と益田地域を一つとらえて郷土愛を育むための事業を行う。上記の事業を実施するために月例の実行委員会の開催、企画や運営の協議、展示用パネル作成など、各事業の準備を行う。

【H24年度採択分】

回数	事業主体	地域	事業名・事業概要
第1回	採択なし		
第2回	三新塔あきば協議会	雲南市	交流の場づくり事業 商店街の空き店舗を賃借し、誰でも気軽に立ち寄れる交流拠点をつくる。ここではお茶を飲んだり、自分の趣味を发表或し、様々な教室・講座が受けられるようにする。また、大学生にも来てもらい、活動紹介や交流を通じた課題提起、情報発信を行ってもらう。当初は毎月3回開設し、喫茶や加工品、野菜や手芸品等の展示販売、趣味の発表、教室と講座を行う。
	AR.Dream.Road (アニマルレスキュー・ ドリームロード)	出雲市	犬猫との共生社会の実現と動物愛護に関する活動事業 動物を飼うこと、命に対する責任を持つことなどを学んでもらえるように子どもを対象とした動物愛護教室や、大人に対しては責任を持つ事（避妊手術・去勢手術）の指導を徹底する活動を行う。一般家庭や保健所から動物を引き取り飼い主に渡すまでの間保護する。動物の収容には限界があるので啓発活動(元栓を閉める活動)に力を入れていきたい。
	紫の風	松江市	みんなで学ぶ性同一性障害～性別に違和感を持つ人たちの人権啓発プロジェクト～ 性同一性障害に対する正しい認識と理解、また啓発研修活動のため、中高生にもわかる性同一性障害啓発事業（教材の作成と配布、出前出張講座）、一般の人を対象とした性同一性障害啓発事業（福祉コーディネーター養成・フォローアップ講座）、性同一性障害の人権を考える講演会、レインボーフェスティバル（啓発事業の集大成）を行う。


編集後記

地域づくり活動事例集を執筆・編集するにあたり、県民いきいき活動支援助成の採択を受け、多様な地域活動に取り組む団体の皆さんからお話を伺う機会をいただきました。

地域社会に横たわる様々な課題に根気強く向き合い、理想とするものを目指して活動を展開する皆さんの声に接し、未来に続いていく地域の底力を感じました。

少子・高齢化や過疎化など、一筋縄ではいかない現状の困難さはいろいろとありますが、たゆまず、あきらめず、前を向いて進む団体の皆さんの活動の一端が、この事例集を通して少しでもお伝えできれば、と思っています。

事例集の編集にあたり、お忙しい中、お時間を割いてご協力いただいた団体の皆様に、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

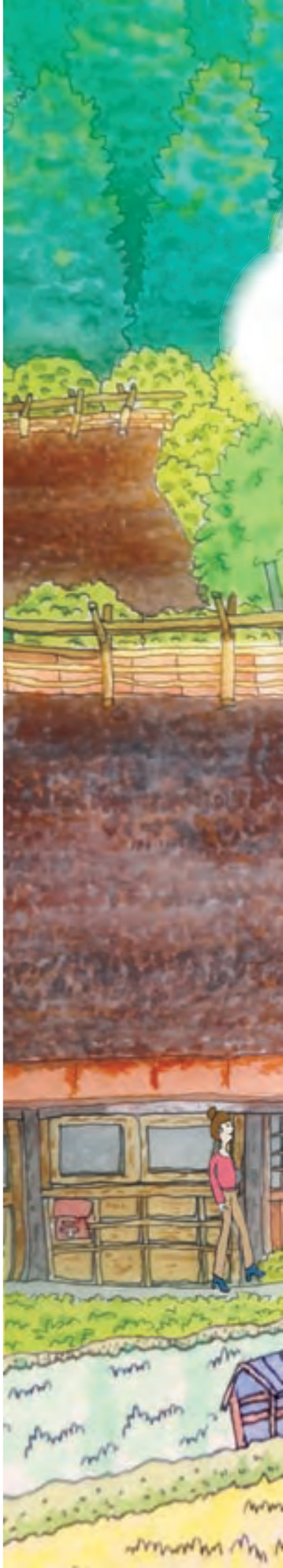


**県民いきいき活動支援助成
地域づくり活動事例集**

平成25年6月発行

編集・発行 (公財)ふるさと島根定住財団

印刷 (株)島根県農協印刷



公益財団法人 ふるさと島根定住財団

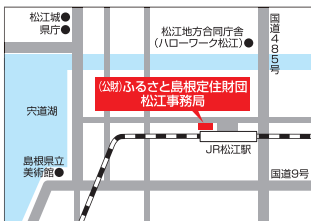
(しまね県民活動支援センター)



定住財団

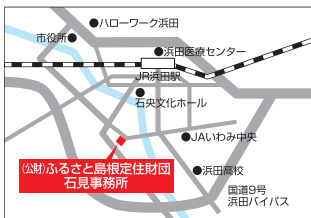
検索

<http://www.teiju.or.jp/>



【松江事務局】

〒690-0003
松江市朝日町478-18
松江テルサ3階
TEL 0852-28-0690
FAX 0852-28-0692
E-mail shimane@teiju.or.jp



【石見事務所】

〒697-0034
浜田市相生町1391-8
シティバルク浜田2階
TEL 0855-25-1600
FAX 0855-25-1630
E-mail iwami@teiju.or.jp